

令和4年度外府県小中学校教頭会研修総会 アンケート結果中間報告(7月10日時点)

この報告を、どのような形で会員に還元するか、研究部で検討してください。

1. 義務教育総括監 香田静夫様のメッセージ「がんばれ！教頭先生。」を視聴した感想をお書きください。

- 「7RULES」の話を聞き、自分の「決め事」は何があるだろうと改めて考えました。児童も職員も安心して過ごせる学校を目標に改めて自分の「決め事」を考えたいと思います。思います。
- 「がんばろう！」とやる気が満ち溢れてきました。素敵なメッセージ、ありがとうございました。
- 「とにかく学校のことを何でも知っている。」今年度赴任してきたばかりですが、まだまだ学校の事で知らないことが本当に多いことを痛感しました。今年度移動してきたから、これは単なる言い訳にしかすぎません。必死になって多くの先生方から学びたいです。また、本校の先生方は大変若い先生が多いです。少しでも自信をもって生徒の前に立てるよう日頃から声掛けを大切にしていきたいです。本校は不登校生徒の出現率が他校よりも多い傾向があります。生徒にとって「明日も学校に行きたい」そう思える学校を先生方と作っていきたくて考えます。
- 「マイルール」は自分も持ってやっていますし、多くの方も持って見えると思います。ただ、公にそれを交流したことはないの、今回香田さんが提案されたのをきっかけに教頭会等で交流できるといいと思いました。ありがとうございました。
- 「管理」と「指導」の改善・充実のために、まずは、先生方のどんな小さな声にでも応えることで信頼関係を築きたいと決意した。先生方が働きがいを感じられることが、本校の学校経営方針の具現につながる。先生方に積極的に声をかけ、傾聴したい。
- 「教頭先生、ありがとう」私も職員から、生徒から、保護者から、地域の方からそうしてもらえることを支えにしています。幸田先生の7ルールを参考に、自分なりの7ルールを考え、実行して生きたと思います。本日はありがとうございました。
- 「教頭先生、ありがとうございます！」感謝の言葉を口にされるのは、とても嬉しいことです。私は、これまで多くの先生に支えられ、教員としての力量を高めていくことができました。今後は管理職として、職員室の風通しを良くし、良好な同僚性がはぐくまれるよう尽力していきたいと思っています。良き同僚性がはぐくまれれば、教員の力量形成(特に若手教員とミドル層教員の育成)が円滑にいくと考えています。常に、職員の実態把握に努めながら職務を遂行したいと思っています。
- 「教頭先生ありがとう」という言葉は、本当に力になると実感しました。先日も研究授業の模擬授業に参加した際に、そんな言葉を若手教員からももらいました。普段の業務に追われて疲れ切った心身も、自分自身がどうして教頭になったのかその初心を常に忘れずに持ち続け、人材育成を進めていきたいと思った。
- 「教頭先生ありがとう」という言葉を一日に一度は言っていたらいいように、私も頑張ります。コロナ禍を理由に、地域に出かけることが少なくなっているので意識改革をします。給食時間や帰りの会に加え、朝の会にも教室参観を心がけます。
- 「教頭先生ありがとう」初任の教頭として4月に赴任して以来、こう言ってもらえるように頑張ってきました。今後も、1番大切なこととして心に残して頑張っていきたいです。
- 「教頭先生は大変である」ということを、香田先生も経験されているため、本当に励ましていただいていることが伝わってきました。現状はなかなか厳しい毎日が続きますが、仲間と励ましてくれる仲間がいることを思うと、「もう少し頑張ってみようか！」という気持ちになりました。
- 「自分のルールを決めて取り組むことが、モチベーションにつながる」ということが心に残りました。自分なりのルールを決めて取り組みたいです。
- 「七つの決め事」とも学びになりました。今年度から教頭を拝命していますが、どのような構えでいたらよいか迷っていました。自分のこれからの指針にしていきたいと思っています。ありがとうございました。
- 「取組」の中で心に残った言葉は、ぎふ命の教育の推進で「かけがえのない命を守り、輝かせていきたい」という言葉でした。不祥事根絶についても、併せて頑張っていきたいと決意しました。2つ目の「教頭先生ありがとう」では、「自分ならではのルールを決めてみてはどうか」という言葉です。いろんな意味で励まされたし、勉強になりました。ありがとうございました。
- 「清流の国ぎふ」を担う子供たちを育てるための取組を把握でき、実践に生かそうと思った。
- 「迷ったら難しい方へ」の言葉は、他の研修会でも聞かれた言葉なので、肝に銘じています。特別な支援を要する児童及びその保護者対応、担任支援、連絡調整に大半の時間をを使う為、そのやりくりが課題です。扇の要になれるよう、励んでいきたいと思っています。
- 「迷ったら面倒な方を選ぶ」というのは、全くそうだと思います。教頭の仕事は「隙間を埋める仕事」とよく言われます。担当がはっきりしていないことは、気付いたときに面倒と思っても自らが行うようにしていますが、まだまだ足りないと感じています。今後も、「面倒な方を選ぶ」ように仕事をしたいと思いました。
- 『7RULES』とまではいかないまでも、自分の中で子どもたちや先生方に向けて毎日かならず行うことを決めて向き合うことの大切さを、今更ですが感じました。常々、教頭として何をすべきか考えて行動できていないことは自覚しておりましたが、場当たりの対応をしている日々を改めようと思いました。ありがとうございました。
- 【新任教頭として】本校は複数教頭が配置されており、第一教頭の姿から学んでいます。互いに日々の業務に

追われてはいますが、放課後には「(他の教員等からの相談を受けて)なぜそのような判断をしたのか」を教えてください、同じ業務を行うときでも自身とは違った心ある対応をしている姿から「誰もが気持ちよく働くために心がけていること」を学んだりしています。モデルとして学ぶことからはじめ、自身はどのような管理職になりたいか(でありたいか)を描いていきます。【市の特別支援教育担当教頭として】校内の職員のよさを伝えたり相談をしてもらえたりする教頭というお話を受けて、市の特別支援教育担当教頭として特別支援教育に関わっては市内の関係職員の指導・支援についてまずは知ること、必要に応じて相談をしてもらえるような存在になりたいと思いました。特別支援教育に関わる教員の養成を進めていくために、県事業の活用を進めたり関係する情報をやさしい言葉で提供したりしていきます。研修をありがとうございました。

- 1年目は教頭としての仕事をとにかくこなす日々だったので、2年目は「7ルール」のように自分の中にルールを決めたりして、計画的に意図的に進めていけるようにしていきたいと感じました。ありがとうございました。
- 3週間ほど前から前任の教頭が病気休暇をとっているため、教頭の職務を代行させていただいております。校長の経営方針を具現しようと、職員や子供たち、保護者、地域のために毎日心を注いで全力で取り組んでいるところです。義務教育総括監のお話より、岐阜県の教育における課題とその解決に向けた県教育委員会の取組について理解することができました。また、教頭のあるべき姿をご自身の体験を踏まえてご示唆をいただき、輪之内中学校でお仕えした際の義務教育総括監のお姿を思い出しながら、改めて自分の生き方で職員や子どもたち、保護者、地域の方に示していきたいと思いました。励ましのお言葉から、がんばりたい、と気持ちを新たにしました。今、自分がやらなくてはならないことは山積みですが、自分にできることから取り組みたいと思っています。特に、「ふるさと教育の充実」の具現のために、学校運営協議会の方々とともに地域の魅力発見「東安中学校ウォークラリー」を、子どもたちや地域の方々の貴重な体験となるよう導きたいです。
- 4月より、現任校に勤務して3ヶ月を迎えます。教頭として自分が大切にしていることは、学校運営は一人の力ではできないこと。それ故に組織がいかに機能し、活性化し、お互いを思いやり、日々の業務に向かえるか。職場環境を整えることです。それぞれの役割を担う先生方が働きやすい、それなくして、自らの命を守り、鍛え、挑戦する子どもは育てられないと考えます。本校の良さを見つけ、一方で、転任者だから感じる違和感を声に出して、職員の声に耳を傾けることを心がけていきます。今回の応援メッセージを糧に、一日1つ。自分から動く。プチ改善を積み重ねて行きたいと考えます。
- 7RULES が心に響きました。私も自分なりのルールをつくり管理と指導の改善*充実に努めていきたいと思いました。
- 7RULES の一つ一つが、自分にはできていないと思うことばかりで恥じ入るばかりです。日々の業務に追われることを言い訳にせず、教頭として自分なりのぶれない芯を確かにもって歩んでいきたいと改めて思いました。
- 7RULES の話をお聞きして、教頭業務の基本として大切にしたいことは、児童、保護者、職員、地域の方との

関わりであると感じた。日々、業務に追われるのではなく、いつ、どこで、誰と、どうコミュニケーションするかを意識して、コミュニケーションを深めていきたいと感じた。

- 7rules を心に留め、元気で明るく務めていきたいと思いました。
- 7RULES は、まさしく大切なことであり、外に出かけて地域を見ることや、私は「～をありがとうございます。」という形の挨拶をするように心掛けています。対応が難しい保護者もいる中で、感謝をされれば嬉しく、苦情も含めて頼りにされていると感じて対応するようにしている。日々の自身の職務への向き合い方を見つめ直した講話でした。
- 7つのルール、大変勉強になりました。果たして自分はどれだけ教頭としての役割を果たしていたのだろうかと感じました。でも今からでも遅くない、多くの職員から「ありがとう」と言ってもらえるよう、自分なりのルールを持とうと思いました。改めて初心にかえり、日々職務にあたりたいと思います。ありがとうございました。
- 7つのルールがありました。自分もルールを作って教頭の仕事をしたいと思いました。子どもや先生がもっている芽を引き出せるような教頭になれたらと思います。
- 7つのルールが分かりやすかったです。実践したいと思います。
- 7つのルールについて自分自身を振り返る機会を与えていただきました。挨拶をかわす際には、一声添えて、というところにはっとしました。全方位に目を行き届かせながらも、たくさんの声かけをしていく。本当に大切な事だと思います。これからもがんばっていききたいと思います。ありがとうございました。
- 7つのルール大変参考になりました。ぜひ帰りの会、給食の時間の生徒の様子見届けたいと思いました。ありがとうございました。
- 7ルールが自分にとって心に残りました。特に「学校のことは何でも知っている」という項目です。赴任して学校はもちろん地域もわからずあたふたしてしまった自分がいました。「できるだけ家庭や地域に出かける」という内容は自分の今までのスタンスにぴったり合うような気がしました。児童生徒、職員室の先生方への指導と相談にのり、学校長の補佐として「生きる力を培う教育」の推進に精一杯取り組みたいです。迷う時が多ありますが、面倒な方を選び危機管理に備えたいと思いました。
- 7ルールズの内容を聞いて、なかなか実践できていないこと、自分にとって難しいことが多いと実感しました。特に、職員指導については、若手が増えている中、指導したことがなかなかできない職員や心構えが足りない職員に対して、気長に指導することが難しいと感じています。信頼される関係性を構築できるよう努力したいと思います。
- 7ルールなど、自分で心掛けたいことを学校の実態に合わせて決めておくことは大切だと思いました。勉強になりました。
- 7ルールの実践に心がけたいと思いました
- 7ルールは、たいへんよくわかりましたが、日々の文書作成、保護者対応、地域住民対応等の業務に追われ、職員や児童に目を向ける時間と精神的余裕がもてませ

ん。それでも、なんとかポジティブに思考を変えていこうと努力しているところです。

- 7ルールは、とても参考になりました。自分も、自分のルールを決めて実践していきたいと思います。ありがとうございました。
- 幸田先生がおっしゃる「7rules」を自分の中で確立したいです。今の自分の課題もたくさんあり、特に学校のことを知り、何でも相談してもらえ自分自身になれるよう努力しています。「ありがとう！」と言われるような自分の行動を心がけていきたいと改めて思いました。ありがとうございました。
- あたたかい励ましの言葉をいただき、迷ったら困難な方を選ぶ大切さを、7つのルールを参考にしながら、これからも子ども達が生き生きと学んでいけるように、教職員一丸となって頑張っていこうと前向きになることができました。
- ありがとうございました。私も自分なりのルールを決めて行動をしています。ただ迷ったら楽な方を選んでいません。反省です。先生方も自分も楽しく気持ちよく働けるよう努力したいと思いました。
- ありがとうございました。不登校生徒の増加については様々な側面から賛否両論があり、学校現場は振り回されることになる。これだけ不登校が肯定的にとらえられるようになってきてまだ、学校に不登校を作らないようにという風潮がある。ほかのことも同様で、働き方改革といわれるがなかなか仕事の量は減らない。本当に現代の教育現場は難しくなっていると感じる。
- ありがとうという言葉と言われる存在になりたいと思った。
- いつでも笑顔を忘れないで誰とでも双方向の意思疎通を大切にしていきたいと思います。何よりも先生といくと安心感があると言われるよう頑張ります。ありがとうございました。
- ウェブではありますが、エールを送っていただき励みになります。不登校生の増加や教員の不足など、我々にとってはネガティブな課題が多いわけですが、現況を受け止めながらも一つ一つを冷静に精査し、短期的、中長期的に改善できることを吟味していきたいと考えています。本校の教職員が同じ価値観をもち、保護者や地域住民への啓発をしつつ、子どもを育てていきたいと考えます。
- お休みした職員の補充や保護者対応に加え感染症対策で、自分の椅子に座ってられない毎日が続いています。でも、「管理」と「指導」の改善・充実にもあるルールがきちんとできるように、もう少しだけ頑張ろうという気持ちになりました。ありがとうございました。
- お元気そうでなによりです。ありがとうございました。
- お忙しい中、私たち教頭のために大変温かいエールを贈ってください、本当にありがとうございました。香田先生の「7RULES」には、深く感銘を受けました。私も学級の様子や授業を見に行くに当たって、曜日と時間を必ず決めるようにしています。そうしないと、日々の忙しさの中で、ついつい後回しにしてしまうからです。ですが、香田先生は、それを7つも決めて実行してみえます。それも、いろいろな面においてです。自分を深く反省しました。まだまだ出来ることはあることに気づきました。私も「マイ・ルール」を決めて取り組んでいきます。また、「引き出し、導き、手を添え、背中を押す」という言葉が心に残りました。先生方にもこの言葉を語りかけ、

子どもに対する自分を見つめて頂こうと思います。数々の気づきを与えてくださり、本当にありがとうございました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

- お話の中でも、特に7つの一つについて、これから自分でも大切にしていきたいと考えていることと同じであると感じました。自分たりていないところを補いながら、自分なりの7つのルール作りに取り組んでいこうと思いました。
- お話の中のRULE6にもあるように、特にコロナの状況も少しずつ改善してきた今だからこそ、家庭や地域と交流しながら、先生方や生徒の頑張りを伝えていきたいと思いました。ありがとうございました。
- お話を伺い、岐阜県の教育上の様々な現状と課題、そして、基本方針につながる具体的な話等、大変勉強になりました。また、香田義務教育総括監督が教頭職の頃、どのようなルールを決めて勤めて(努めて)いらしたのか、そのことが学校全体、児童生徒や教職員、保護者や地域にとってどのような安らぎを与えたのか想像すると、なかなか自分にはできないことだと振り返りました。自身の働き方を周りの人にとって更に良いものとなるよう、見直していきたいと思います。
- お話を聞いて気がわいてきました。今の学校にあった私のルールをつくり、毎日取り組みます。
- がんばります！7つの決め事でできていない部分を改善します。不祥事根絶について、当事者意識をもち、孤独、孤立させないようにすることを念頭において対応します。ありがとうございました。
- がんばるしかないな！と思いました。
- これからの教頭としてのあり方をご示唆いただき励みになりました。
- これからも、頑張ろうという気になりました。
- これからも、同僚の皆さんがゆとりをもって明るく元気に子どもたちと向き合えるよう、声を聴かせていただきながら、工夫・改善ポイントを見極めていきたいと思いました。また、日頃ルーティーンで行っていることの目的を問い直し、マイルールとして定めてみようと思いました。
- これだけはやると自分で決めたことを実践していきたい。
- コロナ禍、ICTなど、早急な対応が必要なことが多いが、担任が困らないように優先させると自分の力不足を痛感する。
- コロナ禍における学校運営の在り方は、これまでの規定のものでは対応できないことが多く、常に新しいこと、新たな対応を求められることが多い。その中で教頭として、課題を的確にとらえ、柔軟に対応していくことが大切だと感じた。また、「7RULE」のように、自身も「とにかく、学校のことは何でも知っている存在になろう。」「全校の児童・保護者とつながろう。」「職員にも、児童にも、自分から挨拶・声をかけよう。」等いくつか決め行動していることがあるが、危機管理・教育指導・信頼関係・人材育成の観点から再度見直していきたいと思った。現在、人材育成と働き方改革に対して、よい動きをつくりだせていないように感じる。「授業をもっとよくしたい。」「学びたい。」といったプラスの発言が聞かれる職場とするために、もっと職員の良さを見つけ、価値づけていかないといけないと感じた。
- ご自分で7ルールをつくってみえたことを参考にしたいと思いました。

- さまざまな対応をしなければならぬ状況の中、「がんばろう」という気持ちになり、背中を押していただける温かいメッセージをいただいた気がします。改めて「自分の決め事」は何かと考えたときに、自分の教頭としての在り方を振り返る機会となりました。ありがとうございます。
- セブンルールがとても印象に残りました。日々の忙しさで、教頭職の根幹を忘れていたことがあると実感します。しかし、こうした自己ルールを決めて取り組んでいくことが大切であると再認識しました。数々の先輩方から教えていただいた宝物を伝えるために管理職になったことを念頭に置き、頑張ります。ありがとうございます。
- せぶんルールが参考になった。
- セブンルールは、大変参考になりました。疲れた気持ちを新たにしていきたいと思います。たいです。
- タイトルも良かったです。また頑張ろうという気持ちになりました。
- たくさんの教育課題がありますが、本校の実態に応じて、ひとつずつ対応していこうと思います。また、「ありがとう」と言ってもらえると私も嬉しいです。「教頭先生、すみません」と言われることがまだ多いので、「教頭先生、ありがとう」と言ってもらえるよう行動していきます。そして、私は7つではありませんが、ルールがあるので、そのルールを大事にしています。元気が出るお話をありがとうございました。
- とても共感できる内容でした。私自身も教員不足問題や教職員の不祥事問題については、大変残念な思いを抱きます。持続可能な学校教育を真剣に考えなければならない時代だと思います。私自身は香田先生の7 Rules にならって、教頭として大切にすることを改めてルールとしてまとめてみようと思います。
- とても具体的に、すぐに実践に生かすことができる内容でした。私は、教職員、生徒、保護者、地域の人々などに、感謝の気持ちを伝えることを大切に考え、「ありがとう」を伝えることを意識していました。今日の研修で、「ありがとう」と言ってもらえるような視点も意識しながら、さらに自分を高めることができるように努力していきたいと思います。本日はありがとうございました。
- とても勉強になったし、励みにもなりました。教頭として自分なりの願いを基に実践目標を掲げて努力していきたいと思いました。ありがとうございました。
- とても励まされました。ありがとうございました。
- どのような思いを持って、生徒や先生方のために管理職としての職務を果たしていくか、香田先生ご自身のご経験からのお話はとても参考になりました。7ルールと間ではいきませんが、私も自分なりの信念を持って職務に励みたいと思いました。
- なおのこと責任ある職務としてとらえます。職員からは「ありがとう！教頭先生。」と言っただけのよう努力いたします。
- なかなか難しい世の中ですが、引き続き頑張っていこうと感じました。身の丈以上のことはできませんが、せめて自分の持っている力の分は、しっかり発揮したいと感じます。
- はげまされました
- まさに課題は山積み。出口は見えない状態ですが、具体的にどのような見方や考え方で仕事を進めていくかを教えていただき、エールまでいただきました。大変

- ありがたく思います。健康に気を付けながら、任務を遂行していきたいと思いました。
- まず、頼りがいのある教頭にならねばと痛感した。一方で、職員と自身の健康管理も大切である。職員の働き甲斐と健康を両立していくために、目配り声掛けを続けたい。
- まず「踏ん張らなきゃ」と思いました。自分が踏ん張ることが、学校運営を下支えすることになるし、踏ん張る自分を助けてくれる教職員もたくさんいるので、その先生方のためにも、自分が踏ん張り、その先生方が働きがいをもって子どもたちと向き合えるようにしたいです。
- まずは、大変元気をいただきました。自分の仕事を改めてやりがいのある仕事だと実感することができました。いのちの教育では、生徒一人ひとりが生き生きと生活できるように学校全体で共通行動していく。その要としてリーダーシップを発揮していきたい。自分は教職員や生徒の前では笑顔で接することを意識しています。そうした対応で、何でも相談しやすい情報の集まる教頭をめざしていきます。本日は本当にありがとうございました。
- メッセージの中で、不祥事の件があがりましたが、一層重く受け止めなければならないと強く思いました。今、職員研修の在り方についても見直し、二度とこうしたことが起きないように全職員で決意をあらたに向かっているところです。教頭として、もっとできることがあったと思い、7つのルールではありませんが、職員のよさ等を発信しつつ、自らが率先して行動したいと思います。
- 一番心に残ったのは、膨大な業務の中、教頭として子どもたちや先生方のために香田先生がご自身で決めたことに取り組んでいらっやったことです。私も、自分なりに「これだけはやる！」というものをもち、危機管理、子ども、保護者との信頼関係を築くこと、人材育成などに取り組んでいきたいです。ありがとうございました。
- 応援メッセージをいただいたと感じています。7ルールは、自分なりにアレンジしようと思いました。
- 温かいメッセージをいただき、今後の活力となりました。ありがとうございました。
- 温かい言葉が多く、元氣と勇気をもらいました。自分は、今年の10月からの赴任で引継ぎもできないまま現在も奮闘中です。周りの方々やPTA、地域の方々に助けられ「人」のつながりが大事だと改めて思いました。自分はよく、人の画数で児童・生徒の前で話します。一画目の長いのが自分。二画目の支えが家族・仲間・地域・その他関わりだと黒板に書いて話します。この二画目を太く丈夫なものにしていかないと自分は倒れてしまう。と話します。現在、わたしは、いろいろな方々に助けられています。香田先生の話聞いてさらに財産を増やすことができました。ありがとうございました。
- 何度、研修を行っていても、不祥事を起こしてしまう職員がいることが本当に悲しいことです。香田先生に教えていただいた7つの決めごとを自分の決めごととして実践していきたいです。ありがとうございました。
- 課題が山積している現状について、簡潔に整理していただき、よく理解できました。香田義務教育総括官ご自身の経験から、自分が実践できそうな項目をピックアップしてチャレンジしていきたいと感じました。
- 課題解消に向けた取組では、様々な課題がある中で、「ぎふいのちの教育」の推進を、本校でも最重要課題と

して、全職員で取組んでいかなければならないと強く感じました。また、教頭先生へのエールでは、7つのルールを、自分自身の指針として、日々振り返りながら、教頭としての責務を果たしていけるよう努力しようと思いました。児童にも先生方にも「必ず一言添える声かけ」を実践していきます。ありがとうございました。

- 改めて、教頭として、管理職として、広い視野と知見をもって業務にあたらなければならぬと思いました。また、香田先生のあたたかいお言葉を聞いて、自分もルールを決めてがんばっていこうと思えました。普段表出できない思いを共感していただけたことが一番励みになりました。ありがとうございました。
- 改めて、自分がすべきことは何かを確認することが出来ました。教頭として、やらなくてはならないことはたくさんありますが、管理職として様々なことに目を配っていきたいと思います。
- 改めて教頭という職の役割について見直すことができました。生徒、職員、学校のためにがんばっていこうと思えます。
- 改めて教頭としての自覚を確かめる事ができました。ありがとうございました。
- 改めて教頭の責務といかにそこに生きがいをもって働くべきかを考えさせられました。
- 改めて教頭職の立場と難しさを感じました。
- 改めて子どもたちのために、職員一丸となって取り組んでいきたいと思いました。
- 学校が抱える課題を再確認できました。教頭としての7ルールズは、なるほどと思うことや自分も実践しているなど行くことがあり、大変わかりやすかったですし、まだまだ教頭としてできていない点を知ることができました。すぐに実践性期待と思えます。メッセージをありがとうございました。
- 学校が抱える様々な課題がある中で、学校としてのスタンスとしては、常に「子どもたち」を中心に添えて、取り組まなければいけないと感じました。一人一人の子どもたちの様相も異なる中、一人一人に寄り添える教員集団となるように教頭としても取り組んでいきたいと思いました。また、教頭として大切にしていきたいことも教えていただきました。7RULESの7項目を常に頭に入れ、学校、職員、児童生徒、保護者、地域、関係機関等、つながりをもって取り組んでいきたいと思えます。今後の教頭としてあるべき姿を具体的に考えることができた機会ともなりました。ぜひ生かしていきたいと思えます。本日はありがとうございました。
- 学校の現状や抱える課題、求められていることなど、大変勉強になりました。「7ルール」、参考になりました。できることから取り組みたいです。
- 学校運営にかかわる多様な課題があることを実感しました。これらの課題に向かっていくエールを講師の方からはいただけたと思えます。
- 学校現場には様々な課題があるが、自分のできること・やりたいことのルールを設定することが、仕事を円滑に進めることにつながることを学んだ。実践していきたい。
- 学校現場の状況は、ますます複雑になってきていることを、改めて実感することができました。難しい状況でも頑張っている教職員の笑顔、子どもたちの笑顔のために、自分に何ができるか考えていきます。そのうえで、7

ルールを参考にしたいと存じます。ご講演、ありがとうございました。

- 学校長と情報を共有し、職員、生徒のためにフットワーク軽く動きたいとあらためて考えることができました。ありがとうございました。
- 学習指導要領の全面実施や社会の変化に伴い、学校も変化していかなければならないと強く感じました。そして、学校全体で対応できるように教頭としてのリーダーシップを発揮しなければならぬと感じました。
- 管理と指導の改善と充実を図るための7つのルールが心に残った。教頭として2年目になるが、いまだに日々の仕事に追われ、見通しや余裕をもって職務を遂行できているとは言えない状況が続いている。香田義務教育総括監がおっしゃったように、これだけは・・・という自分なりのルールや信念をもって職務に当たりたいと感じた。
- 管理と指導の面で、責任をもって務めることを、改めて自覚して臨もうと思いました。自分も7つのルールを決めて、先生方、子供、保護者、地域と向き合おうと思えます。ありがとうございました。
- 簡潔で大変わかりやすいお話でした。現状把握、今後の問題点など自分の取り組むべきことが見えてきました。
- 頑張る元気をいただくことができました
- 頑張ろうという気持ちになりました
- 危機管理に際して、「困難な方を選ぶ」というのは、確かにそうだなと思えます。今後の指針としたいと思えます。
- 岐阜県が抱えている問題を、グラフとともに改めて確認できた。教師不足の中でも子供たちにとって大切なことを確実にやっていかなければならないのだと改めて感じた。その中心にいる立場の教頭として、強くたくましくいろいろなことに対処していかなければならないこと、先生方も子供たちも支えていかなければならないと感じた。どのことに対しても近道はなく、子供に軸足を置きながら一つ一つ丁寧に対応していかなければならないと感じた。香田義務教育総括監の教頭時代の7つのルールも自分の新しい視点となった。ありがとうございました
- 岐阜県における課題解決に向けての取り組み状況や現場で配慮すべきことがよくわかりました。また、管理職としての教頭の職務の重さを再認識しました。元気を出して頑張ります。ありがとうございました。
- 岐阜県における教育課題、特に特別に配慮を要する児童生徒の増加の現状を知り、改めて対応の必要性を感じた。加えて、時代が求める教育に応え、変化の激しい時代にあってもよりよく生きる子供を育てていくことの使命を強く感じた。学校だけで抱えるのではなく、家庭や地域、関係機関などと連携協働していく体制を更強めていきたいと考えました。何より、子供の指導にあたる教師の資質向上は不可欠であるため、危機管理意識をもって指導と管理を行い、子供や保護者、教職員な誰もが幸せになれる信頼のある学校づくり励みみたいとかんがえました。香田先生の7ツルールのように自らを磨き、子供や保護者、地域、教職員のために努めていきたいと思いました。ありがとうございました。
- 岐阜県における現状を改めて知ると共に、一つずつやっていかなければならないと思いました。また、「7ルー

ル」が大変心に残りました。自分でもこれはということを決めて取り組みたいと思いました。

- 岐阜県の課題がとてもわかりました。何にどのような手立てを打たなければいけないのかとても具体的に、自分の学校なら・・・と考えることができました。7つのルールも真似してみようと思います。
- 岐阜県の課題がまさに本校でも、同じ課題であると思いました。増加している特別な配慮を要する児童に対して、不足している教員がどのような対応ができるのかを考えていかなければいけないと痛感しています。また、私たちにエールを送っていただき、元気ができました。ありがとうございました。
- 岐阜県の課題がよくわかり、力を入れるべきことが見えました。香田先生に励まされ、頑張ろうと決意を新たにしました。
- 岐阜県の課題に対し、教頭としていかに取り組むか、大きな課題をいただいた気がする。迷ったら、困難な方を選ぶよう努力します。
- 岐阜県の学校教育の課題と取り組むべき方向について、分かりやすくご示唆をいただきました。自らに課題を課して、目の前の子どもたちのために尽力したいと思いを強くもちました。ありがとうございました。
- 岐阜県の学校教育の現状と課題を、とても分かりやすくまとめてご説明いただき、あらためて「いじめや不登校等への対応」「特別支援教育の充実」「ICT活用と授業改善」「不祥事根絶」などに、本気で取り組まねばならないと思いました。また、これらの課題の改善のために県教育委員会が重点を置いて取り組んでいる内容もよくわかりました。後半は、私たち教頭に温かいエールを送っていただきました。香田先生の「7つのルール」のお話について、私自身も心に決めて実践していることはありますが、「給食と帰りの会は教室にいる」「先生の良さを子どもと保護者にたくさん伝える」の2つについては、ぜひ参考にして自分自身にも取り入れたいと感じました。すべての先生方と子どもたちに対して、温かく頼りになる教頭を目指し、これからも頑張っていきたいと思いました。ありがとうございました。
- 岐阜県の教育について、現況や課題を再確認することができました。香田様から教えていただいた7ルールのなかで、職員の高さを見つけて保護者や地域の方に知ってもらおうことは、本当に大切なことだと実感しております。今は、本校の生徒のためにご尽力いただいている先生方に感謝し、「ありがとうございます」と伝えることしかできておりませんが、いつか「教頭先生ありがとうございます」と心から思ってもらえるよう精進したいと改めて思えるご講話でした。御指導を賜りまして、ありがとうございました。
- 岐阜県の教育の現状についてあらためて知ることができました。課題は山積みですが、日々、先生方とのコミュニケーションを大事にしていこうと思っています。7つのルールを自分で決め、実践していくことを、是非自分もやっていきたいと思っています。
- 岐阜県の教育の現状に対する県の施策に対して、改めて感謝いたします。様々な支援を必要とする児童が増加している中で、教員不足や働き方改革の推進など、難しい現状ではありますが、教頭としてできることを考えて実践してまいります。香田先生の実践「7つのルール」を伺い、自分にできていないことがあると改めて振り返りました。自分で大切にしていることと香田先生か

ら学んだことを基にして学校課題の解消に少しでも貢献してまいります。

- 岐阜県の教育の現状や今後の動きについて具体的にお話しいただきました。本校でも、配慮の必要な児童への指導に、日々忙しくしています。少しでも職員が子どもたちに向き合う時間を確保したいと願っていますが、難しいところです。子どもたちが幸せになるよう、頑張っていきたいと思っています。
- 岐阜県の教育の現状を端的に知ることができ、さらに教頭としての職務内容を再確認することができました。教頭1年目の今年度は、子どもたちや先生方の役に立てる動きを一つ一つ増やしていこうと思っています。
- 岐阜県の教育課題が様々あることはよく分かった。本校においても、特別な支援が必要な児童や集団に馴染めず、教室で過ごす事がしんどい児童が増えている。それに伴って、対応する職員の数が不足、疲弊感や多忙感を職員が感じてしまう瞬間もあるだろう。職員の数を増やすことは私にはできないので、支えてくださる方や応援してくださる人を増やすべく、保護者や地域の方々から学校の様子や職員の頑張りを伝えていきたいと思う。また、コロナやGIGAスクール構想など、社会や学校現場においても変化の激しい時代。子どもたちによりよく生きる力を培うべく、自らも変化に対応しよりよく生きる力を身に付けたい。
- 岐阜県の教育課題について、教職員数の維持や教科担任制の実施など、施策として取り組んでいただいていることを再確認することができました。現任校でも、不登校やいじめ問題など解決に向けて取り組んでいるところです。また、「いのちの教育」の推進も図っているところです。教頭として「管理」と「指導」の改善と充実を図るため、危機管理意識や人材育成、地域や保護者との連携を大切にしながら日々の教育活動を進めていきたいと感じました。
- 岐阜県の教職員の不祥事が今年度続いていることで、頑張ってみえる先生方が心を痛めています。お互いに自校からは出さないよう、研修を定期的に続けていきます。教頭職の役割は本当に多岐にわたっており、常に、最新の知見をもとに取り組んでいかなければならないと感じました。
- 岐阜県の現状がわかり大変助かりました。今後の活動の参考にします。
- 岐阜県の現状と課題、対策が理解できた。教頭への熱いメッセージをうかがい、あらためて頑張ろうと決意しました。
- 岐阜県の現状や教頭としての職務を再確認しました。課題は多いですが、学校現場で対応して行かなくてはならない厳しさがありました。お話の中にあつた教頭の仕事の中で、「それ以外」と挙げられた事務処理、補修、業者対応に追われている自分は、どうしたら教頭職が務まるのかと悩みが多いです。「培う」は教育現場でよく使う言葉ですが、改めて意味を知ると、教師として必要な姿勢に気付かされました。周囲の先生方に紹介し、お互いに大切なことを確認する場を設けたいと思います。ありがとうございました。
- 岐阜県の現状や教頭としての心構えなど詳しく教えていただきありがとうございました。ただ、「頑張れ」という言葉は、毎日精いっぱいやってみえる教頭先生方に送るには、あまりに酷なものではないかと思ってしまう。皆さん、頑張ってみえますよ。

- ・岐阜県の現状を踏まえた取り組みを推進していく必要があると感じました
- ・岐阜県の現状を分かりやすくご説明いただき理解を進めることができました。また、ふんだんにちりばめられた「応援メッセージ」に心打たれました。応援にこたえられるよう頑張りたいと思います。今回の研修につきまして、動画編集や資料作成、案内やアンケート作成など、事務局の皆様方には本当にお世話になっております。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。
- ・岐阜県の子どもや学校の状況から課題が山積していること、これらの課題に対応するにはこれまでの当たり前ではなく、発想の転換も必要であることを感じました。
- ・岐阜県の施策の重点を改めて確認できました。また、教頭として大切にしていることを整理してルールとして明確にしようと考えました。ありがとうございました。
- ・岐阜県教育の現状で、児童数が減少しているにもかかわらず、不登校、特別支援関係の問題、教員不足の課題があること、数字で示され、納得いたしました。子どもたち、保護者、先生方の力に少しでもなれるよう、地道に頑張っていこうと思いました。ありがとうございました。
- ・岐阜県教育の現状と課題が具体的な数値を示していたきよくわかりました。特に様々な支援が必要な児童への働きかけを考えていきたいです。また、教頭として自分なりのルールを決め、働きやすい職場にしていきたいです。
- ・岐阜県教育の現状と課題が資料をもとに端的に理解できました。今後の職員の研修にも役立ちます。
- ・岐阜県教育の現状と課題についてお話しいただいたことを、これからの職務に生かしていきたいと思いました。特に、不祥事に関わっては、自分のこととしてとらえ、自分を戒めていく風土を自分の職場に作っていきたくと思います。香田義務教育総括監の7ルールについて自分でも同じようにルールを作り、実践していきたいと思いました。大変貴重なお話ありがとうございました。
- ・岐阜県教育の現状と課題のお話の中にありましたように、コロナ禍が続き、これまで通りにできないことが多い状況ではありますが、だからこそこれまでの取組を見直すチャンスと捉え、児童がよりよく生きる力に培えるよう全職員で取り組んでいきたいと思ひます。また、エールの中にありました「ありがとう」と言ってもらえるような存在になるには、自分自身まだまだ足りない部分が多いと感じました。幸田先生の7ルールを参考にさせていただき、自分なりのルールも考えてみましたので、心にとめて努めていきたいと思ひます。
- ・岐阜県教育の現状と課題は、児童生徒の現況と学校(教職員)の現況が大変わかりやすく、県教育の重点や不祥事についても、再確認できる機会となりました。香田先生が実践されていた「7ルール」については、自身にも照らし合わせて実践できることを始めたいと思ひました。
- ・岐阜県教育の現状と課題を具体的な数値で知ることができた。自分でも、決め事を決め仕事を進めたい。
- ・岐阜県教育の現状と課題を聞き、今の時代を「自分を失うことなく共によりよく生きていける力」を職員と共に育てていきたいと思ひました。義務教育総括監香田静夫様のお話の中の「7RULES」のように子どもたちや

- 保護者、そして職員に寄り添い指導と管理の改善や充実を図っていきたくと思ひました。本日はありがとうございました。
- ・岐阜県教育の動向や課題がわかりました。また、教頭として、忙しくても、自分が決めた約束はやり切れることは、自分でもそうだと改めて思ひました。生徒や教師に培うことを行っていきたく思ひます。
- ・岐阜県教育ビジョンや岐阜県の子供たちの実態を踏まえた指導の方向について、具体的に示していただき、大変参考になりました。また、「7rules」と「培う」というお話については、香田先生にお人柄が伝わってきて、自分自身も児童生徒や教職員を大切にしていける教頭でありたいと、改めて感じる事ができました。「7rules」は、自分なりのものを考えて取り組んでみようとしているところです。ありがとうございました。
- ・岐阜県教育委員会としても様々な施策を講じてみえることがわかりました。このことを踏まえながら、現場で何をすべきを判断し、学校運営に生かしていきたいと思ひました。7ルールについても、早速実践したい内容があるので取り組んでいきます。ありがとうございました。
- ・岐阜県教員の不祥事が多発しており、子どもたちや保護者、地域からの信用・信頼を裏切ることになっており大変な危機感を感じている。自分の学校からは絶対に不祥事を出さないよう、教職員を観察し、声をかけ、やりがいのある職場にしたいと改めて決意した。香田先生のお話には、先生自身が大切にされてきたことを教えていただき、先生方の良さをもっと保護者や地域に伝えていかななくてはいけないことに気付いた。
- ・岐阜県内の子どもや学校の現状、県の政策などが改めて分かった。また、教頭としてどうあるべきか初心に戻って見つめ直すことができた
- ・貴重なお話をありがとうございました。WITH コロナになり、様々なことが新しくなったり、コロナ以前を求められて戸惑ったりの毎日です。本校は、小規模校でとても温かい雰囲気の中、落ち着いた学校生活が出来ています。教頭2年目で、1年目から自分に課しているルールを今一度見直しながら、さらに良い学校にできるよう、努力したいと思ひました。ありがとうございました。
- ・貴重なお話をありがとうございました。ゆっくり見る余裕はあまりないのですが、元気をいただきました。制限のある生活が続き、判断に迷うことが多々ありますが、子どもたちのために決意新たにしました。
- ・貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。現在の学校を取り巻く様々な問題を詳しいデータで知ることができました。コロナ禍や働き方改革、教師不足など、目の前の問題に日々取り組んでいますが、先生のお話を聞き、勇気をいただくことができました。また、「7つのルール」は目からウロコでした。先生のルールを自分にあてはめると、2・3個しかできていませんでした。自分のルールすら決めていなかったの、先生のルールを自分のルールとして取り組んでいきたいと思ひました。ありがとうございました。
- ・喫緊の課題に対する現状を再認識しました。自分の決め事の中に、このこの課題への対処方法を盛り込む要素を入れ込み日々の業務に取り組みたいと思ひました。
- ・喫緊の教育課題について整理して理解できました。また、7rulesのうち、6の職員の良いところを積極的に保護者や地域の方にも伝えていくこと、7の迷ってら面

倒な方を選ぶと言うことについては、まだまだ自分には足りないと感じました。自分なりのルールを決めてポジティブに乗り切っていきたいと強く思える機会になりました。ありがとうございました。

- 急激に変化し、多様化、複雑化する社会を生きることになる子どもたちの生きる力に培う教育をするためには、教員一人ひとりの資質能力の向上が求められます。そのような中、教頭は児童生徒、保護者、地域、教職員をつなぎ、学校長の学校経営ビジョンを具現化するための具体的な手立てを、躊躇することなく打ち出し、実行し、更新することが重要だと感じました。教頭ひとりで頑張るのではなく、組織でうけるようにするために、ミドルリーダーの育成にまずは努めようと思います。そして、地域を知ることが今年の目標とします。
- 求められること、やらなくてはいけないことが多く、日々の多忙な現状に、心を寄せていただき、エールを送ってください、嬉しく思いました。率先して動き、児童や職員の声を聞き、頼りにされる教頭であるよう努めたいと思います。
- 教育に係わる現状と課題を知ることができました。それらの課題は、日々、本校でもひしひしと感じていることであり、教育の難しさを感じています。しかし、同僚性を大事にして組織で対応していけるよう努力しています。退職後の任用については、本校でも大切な人材として活躍していただいています。有り難いです。その一方で、若手職員の指導の大切さを痛感しています。教頭として、できることを日々、実践していきます。「7つの決めごと」について、「迷ったら、面倒な方を選ぶ」ということを私は実践しているだろうかと考えさせられました。頼れる教頭を目指して、タイムマネジメントをしながら、日々実践を進めていきます。ありがとうございました。
- 教育の課題一つ一つに誠実に向き合っていこうと思えました。7つの決め事、私も決めて実践していこうと思えました。
- 教育の現状と課題解消に向けた取組を知り、私なりの7ルールを改めて確かめながら、教頭として努力したいと思えました。新任・若手職員の育成に精力的に取り組もうと思います。ありがとうございました。
- 教育課題については、特に「ぎふいのちの教育」に共鳴し、実践していきたい。性犯罪の加害者にも被害者にも傍観者にもならないことも含めて推進していきたい。また、「～に培う」という言葉からさらに子どもたちのために頑張っていきたいと感じた。
- 教育現場での課題や解決すべきことが更に明確になった。
- 教育現場には解決すべき課題が山積していますが、子どもたちと教職員の笑顔のために自分ができることを精一杯やろうと思えました。教頭としての7つの決め事をいつも心がけて、性根を据えてよりより学校生活につながるようにがんばりたいと思えました。ありがとうございました。
- 教育現場の現状は益々厳しくなることを踏まえ、香田総括監様の経験を含めたメッセージ、特に7つのrule(決めごと)について考えさせられました。自分自身、7つのうち、ほとんどができていますと確認しましたが、形だけで終わっていることもあり、中身がまだまだであると考えさせられました。早速、中身を伴った実践をしていきます。

- 教員不足や変化が著しい教育会において、嘆いても解決しない状況をどうよりよい方向へと学校運営の舵を切っていくか、気持ちを新たにもって取り組んでいきたいと思えました。
- 教師不足と言われる昨今、若い教職員からベテランの教職員まで、互いの持ち味を活かして風通しの良い学校として機能するよう取り組みたいと思えました。教育課程の編成と充実、危機管理、信頼関係、人材育成の4つの面から自身を振り返り、目標を明確にしていきたいと感じました。ありがとうございました。
- 教師不足の中、教員が魅力ある職業となるためにも働き方改革を進めていかなければならないと考えた。また、教職員の府商事根絶のために、風通しの良い職場となるように管理職として力を発揮したいと考えた。香田先生の7RULESが大変参考になり、刺激になった。自分の7RULESを早速考えたい。
- 教職員の不祥事については、私の身近なところで立て続けに起きてしまい、大変心を痛めています。そういった仲間を今後出さないためにも、日々研修や働きかけをしています。また、最後の「培う」のお話では、まさに私が大切にしていることでしたので、教頭という立場にあって、できるだけ多くの教職員にこの考え方を伝え、理解してもらい、実践できるようにしていきたいと改めて思いました。ありがとうございました。
- 教頭として、取り組むべき具体的な示唆をいただけた。
- 教頭として、4つの柱で自分は日々何を課すか、再確認することができました。
- 教頭として、今求められている課題を整理することができました。また、その解決の方途について、香田先生のご実践を通して、自身の今後の歩みを見直すことができました。ありがとうございました。
- 教頭として、自分に足りないことを自覚して、香田先生に教えていただいた7ルールを参考にして決め事を作ってみようと思えます。とても勉強になりましたし、新たな意欲が湧いてきました。ありがとうございました。
- 教頭として、職員が生き生きと指導し、子供たちが安全に安心した生活を送れるように、自分の業務を見極めていくことの大切さを改めて感じました。不祥事根絶についても、折に触れて事例を紹介しながら職員の意識を高めているところです。また、7つの約束を聞き、自分の働き方の指針をあらためて考える機会をいただいたと思います。どんなときでも大切にすることや、確実にを行うことを整理したいと思えます。
- 教頭として、先生たちの働き方改革を前提に学校教育の工夫をしていきたいと感じました。
- 教頭として、日々職員の皆さんが気持ちにゆとりを持って仕事ができるよう、自分に何ができるか考えていきたいと改めて思いました。香田先生が実践されていたことを参考に、自分のあり方を見直したいです。
- 教頭として「自分自身で約束事を決める」ことを実践しようと思えました。毎日が忙しく過ぎ去る中、子どもたちに職員に自分は何ができているだろうかと不安を感じていました。「この時間は教室に」などと、自分自身で決めることで、忙しさに流されず、自分のしたいこと、やるべきことを見失うことなく、教頭として役割を果たすことができるように思いました。
- 教頭として6年目になります。学校長の方針を受け教育活動を進めること、毎日の授業(補欠授業を含む)、職員の相談、保護者や地域との対応、児童への指導、

児童や保護者への相談支援、各点検業者、修理業者等との対応、教育委員会からの調査回答など、日々の業務に追われながら職務を遂行してまいりました。どんなに努力しても、不登校児童、学習面や行動面での困り感のある児童は毎年みられます。そこで、学校として、「学び合い」の授業を取り入れるなど、様々な課題解決に向けた取組を組織的に行っているところです。香田先生のお話をお聞きし、今一度、自分の教頭としての動きを内省しなければならないと感じました。職員や保護者、子どもたちから「教頭先生がいてくれるので安心」と思ってもらえるような動きができていますか。教頭として確かな「管理」や的確な「指導」ができていますか。もう一度客観的に振り返ることも必要であると思いました。教頭の仕事は、直接児童生徒に関わらないものも多くありますが、一つ一つの仕事を誠実にやっていくことが、変化の激しい時代を生き抜く子どもたちを育てることにつながると信じています。ご多用の中、ご講演をいただき、感謝しております。ありがとうございました。

- 教頭としてのこれまでの勤め方を振り返り、改めて自分のルールを決めようと思いました。足かせにするのではなく、職場環境をより良くするためのルールとしたいと思います。義務教育総括監の7ルールのうち、職員が頑張っている所を保護者や児童、地域に伝えることはこれまでの自分に足りていなかったのも、自分ルールの一つとしたいと思います。
- 教頭としての仕事や役割を再確認することができました。また、ここ最近の学校や児童生徒の様子や傾向、目玉となっている取組などがよくわかりました。香田先生の7つのルールについて、私はできていないことばかりでしたが、何か1つでもこだわりをもってやってみようと思うことができました。体験に基づく貴重なご講話をありがとうございました。
- 教頭としての使命感を強く自覚し、生徒の安全と命を守るための具体的な手立てを考案し、実施していきたいという決意をもった。義務教育総括監が実践されている7つのルールを自分でも考案し、実践していきたいと思う。何よりも、生徒の笑顔が溢れる活気のある学校づくりにむけて、全力を注ぎたいと覚悟することができました。参考になる講話をありがとうございました。
- 教頭としての自覚、役割を再認識する機会となりました。ありがとうございました。ご講演の中にもありましたように、仕事内容は多岐にわたります。しかし、まずは、目の前の子どもたちや職員を大切にしていこうと思います。常に、感謝・労い・心配の声をかけながら暖かい職場づくりに励みます。
- 教頭としての自覚と意識を更に高めたい。子供が自分らしさを発揮して力を伸ばすよう、そして、先生方が安心して勤務できるよう今後も信頼関係を大切にしながら管理と指導に努める。本日はありがとうございました。
- 教頭としての自分を振り返るよい機会になりました。事務仕事に追われ、また、学校規模が大きいので、先生方や子どもたちのことを十分に見ることができていないと思います。もっと、学校の中の様子をつかめるよう、がんばっていききたいと思います。
- 教頭としての職務への負担は、単位学校組織で改善できるものではなくなってきたと思います。副校長が他県で導入されたり、指導教諭等名前を変えてなんとかこ

の対応できるように腐心されている理由を岐阜県も気づいてもらいたいです。現状、衰退していると感じているのは私だけではないと思います。若手を育てたい。培いたい…その気持ちを実現させる時間がないことがもどかしいことをわかっていただけたらありがたいです。

- 教頭としての責務を果たすべく、日々研鑽を積む必要があると強く感じた。特に、今日的な課題に取り組んでいきたい。
- 教頭としての責務を改めて確認できました。私も自分に具体的なルールを決めて、教頭という仕事に取り組みたいと思いました。
- 教頭としての責務を痛感するとともに学校が一丸となって取り組む大切さを改めて感じています
- 教頭としての役割が明確になりました。
- 教頭として頑張らなければならないと、改めて思いました。
- 教頭として職員に感謝されるようさらにがんばっていきましょうと思いました。
- 教頭として大切にしたいこと、特に管理職として考えなければいけないことを改めて確認できました。ありがとうございました。
- 教頭として当たり前に行うべき仕事の確認ができました。
- 教頭として明日からも頑張ろうという気持ちになりました。ありがとうございました。
- 教頭には、多種多様な役割があるが、子どもたちや先生方のためにポジティブにとらえて業務を行っていくことを心掛けたいと思いました。「7ルール」は、私も早速実践したいと思いました。ありがとうございました。
- 教頭に課せられた使命を再確認するとともに、本校の先生方と力を合わせてよりよい学校を目指す気持ちが高まりました。現在の教育課題について心に留め、解決に向け努めて参ります。また、自分ルールを決めて取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました。
- 教頭のやるべきことを再認識しました。忙しすぎて目の前のことで手一杯ですが、自分ルールを決めて、「教頭先生、ありがとう！」と言ってもらえることを励みに頑張りたいと思いました。ありがとうございました。
- 教頭の業務はとても多く、日々の指導や授業を行う中で大変ですが、県内の教頭先生方の皆が同じだと思い頑張りたいと思います。
- 教頭の職務は多岐にわたり大変ですが、教頭先生ありがとうございました。少しでも言われるように頑張っていきたいと思います。7ルールはとても参考になりましたので、自分にも取り入れたり、自分なりのルールをさらに作って実践していきたいと思いました。ありがとうございました。
- 教頭の窓口が広く、毎日が慌ただしく過ぎていく。そんな中で何かにかかわって自分らしく職務を果たしていきたいと思った。
- 教頭の役割と責任を改めて肝に銘じました。
- 教頭の役割は多岐に渡りたいへんです。ですが、まず自分自身が元気で笑顔で明るく、生徒のため、職員のため、そして地域のためになるように努めていききたいと思います。また、様々な問題と向き合い、先頭に立って解決していかなければならない立場ですが、安心感を与えられるような存在になれるよう頑張りたいと思います。本日は貴重なお話をありがとうございました。

- 教頭の立場に寄り添い、ご指導いただけたことに感謝しています。改めて、教頭という立場の大切さだけではなく、難しさについて考えました。
- 教頭三年目になるが、初心に戻り、安心して職務に専念できる教頭でありたいと思いました。明日からの実践に活かしていこうと決意しました。
- 教頭職が「扇の要」と言われた言葉が印象的でした。確かに子供、先生方、保護者、地域、外部機関、教育委員会等、関わる相手は多く、激務と言えど激務ではありませんが、学校を背負っているという責任感とやりがいを感じています。子供たちや先生方、保護者や地域にとって頼りにされる教頭を教頭を目指して、今後力を出し惜しみせずに頑張りたいと思います。
- 教頭職として、学校の要となれるよう、日々の職務に励まなければと改めて思いました。
- 教頭職についたからには、紹介していただけた7ルールを自分にも課して、学校のため、地域のために精一杯努めていきたいと思いました。ありがとうございました。
- 教頭職の重責、またやりがいを改めて認識できました。最後の「～を培う。」という講話に非常に共感を覚えました。教育、教師の原点も再認識できました。ありがとうございました。
- 苦しい毎日であるが、同僚の先生方とともに頑張っていこうという気になれた。
- 具体的な数値や事例をもとにしたお話で大変参考になりました。今後も頑張ろうという意欲が湧いてきました。
- 経験の少ない職員が大変多く、何から伝えればよいか困っています。一緒にやることを重荷に思っている職員も多く困っています。しかし頑張らなければならないと言いつつも頑張っています。香田先生のお話を聴かせていただき、また手を替え品を替え頑張っていく必要があると感じました。ありがとうございました。
- 激励の言葉を頂き、改めて学校の中で要として頑張っていこうという気持ちが高まりました。ありがとうございました。
- 県が大事にしていることが、短くまとめられていたにもかかわらず、伝わってきた。
- 県の教育の現状とこれから必要とされる、培っていく教育の方向を分かりやすく示していただき、勉強になりました。何よりも香田静夫総括監の経験を踏まえた「7つの決め事」、エールは昨年度途中から学級担任を兼務させていただいたので、身に染みて元気をいただきました。『培う』風土を子ども、保護者、職員、地域に真に広めていけるように精進してまいります。貴重なお話をありがとうございました。
- 県の教育の方向性を丁寧にお話いただきありがとうございました。子供たちに魅力ある学校や教師の姿を、現任校の姿で示せるように取り組みます。
- 県の教育課題について理解を深めることができました。特別に支援を要する児童の増加については、普通学級においての対応が基本となることが多いので、外部専門機関と連携を図りながら個に応じた指導が行えるようにしていきたいと思います。また、職員に信頼される教頭となるよう、香田先生のように自分がすべきことを明確にして日々取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました。
- 県の現状を知ることができたこと。さらには、「管理」と「指導」の改善・充実での「7RULES」(七つの決め事)

- のお話を聞き、教頭として信頼を高めるためには、自分なりの決め事を自分で決め、続けて実践していくことであると勉強しました。まずは、決め事を決めます。ありがとうございました。
- 県の今抱えている現状と課題がよく理解できた。
- 県の指針を改めて再確認できたよい機会となりました。また、後半の話では、元気が出ました。私自身のルールを見だし、この調子で頑張りたいです。
- 県教委が現在取り組んでいる施策について、我々管理職がしっかりと理解し、自校では何ができるか、何をすべきかを考えていかなければいけないと感じました。また、香田先生の7RULESのように、確固たる自分の教育信条・信念をもち、その具現に向けて精力的に行動していかなければいけないと自省しました。
- 県教委の今日的課題に対する取組や施策が分かりやすく知ることができ、エールの話も含めて、多忙な毎日で忘れそうになっている管理職である教頭と言う立場や仕事を振り返るよい機会となりました。もう一度、原点に立ち戻って、自分のやるべき仕事や職員の育成に力を注いでいく必要があることを自覚しました。ありがとうございました。
- 県教育の現状のデータを明示していただき、大変参考になりました。「ありがとう」と言われる教頭こそ、私が目指したい率先垂範の教頭像であり、サーバント・リーダーです。教頭になった頃の初心を再確認させていただきました。
- 県全体の課題をご提示いただき、まさに本校はその縮図だと感じています。本校では、「どの子も厚見小で学んでよかった」「どの職員も厚見小で勤めてよかった」と思える学校をめざしています。しかし、困り感を抱え、個別対応が必要な生徒が多数おり、その児童の指導に苦慮し、教職員の負担が増加しているという現状を抱えています。児童一人ひとりをゆったりと見つめ、自分の指導をしっかりと見つめ直す、そんな自然体の学校経営が、まだまだ十分できていません。教育課題が波のように押し寄せるご多忙の中、御講話ありがとうございました。やる気スイッチを入れていただけました。やるべきことははっきりしています。漢方薬と特効薬とをうまく使い分けながら、自分らしくやろうと思っています。Sevenルールはなかなか実践できていませんが……。本当にありがとうございました。
- 県内の課題を再認識するとともに、総括監のお人柄も分かり、考えるきっかけとなりました。
- 県内の教職員の不祥事の再発防止に向け、私たち一人一人が教職員としての誇りと責任や不祥事根絶に向けた強い思いを再確認できるよう、教頭として自分事として考えられる校内研修を工夫して進めていきたいと改めて思いました。また、「培う」とは、導き、手を添え、背中を押すなどして確かな成長へとつなぐ意味があることを知り、自分も含め職員の人材育成に微力ながら努めていきたいと強く思いました。ありがとうございました。
- 県内の児童生徒の状況、学校を取り巻く状況を改めてご説明いただき、今の教育課題に向かって、学校の職員と力を合わせ、また、微力ではありますが自分自身力を発揮し、取り組んでいきたいと思いました。「ぎふのちのちの教育」の推進では、生きる喜びをどの児童にも触れさせられるようにし、生きるエネルギーを得られるよう、子どもたちに関わっていきたく思います。「教頭

先生、ありがとう。」という言葉が掛けてもらえることに喜びをもち、子どもたちのことを第一に考え、日々過ごしていきたいと思います。ありがとうございました。

- 元気がでました。がんばります。
- 元気が出た
- 元気づけられ、守られていると感じたのが一す。日々、忙しい毎日で、一日が終わると今日は何ができたかなとあっという間に過ぎていることを実感しています。が、こうやって分かってくださっているということが安心感につながり、学校の先生方にも同じ気持ちで接することができる気がします。終わりの見えない感染症の対応ですが、子どもたちの学びを止めないために日々わたしたちも試行錯誤し変化させています。教頭2年目でまだまだ頼りにされる部分は少ないですが、仲の良い職員集団を目指してこれから先生方に声をかけていきたいと思いました。本日は、ありがとうございました。
- 元気をいただきました。ありがとうございました。
- 現在、コロナ関係で2名の職員がお休みしている中、職員力を合わせて乗り越えています。講話にもあったように、自分で決めたルールをつくり、子どもたちの笑顔のために、職員1人1人にとって働きやすい職場を求め続けていきたいと思っています。香田先生の言葉を心の支えにし、又頑張りたいと思います。ありがとうございました。
- 現在、学校現場は、様々な課題がある。だからこそ、総括監の言われるように、教員は楽をせず、苦勞を選んで仕事をしなければならないと思う。そうすることで学校は、職員が働きやすく、地域の方に信頼され、保護者が安心して子どもを通わせ、子どもは毎日楽しく登校できる、そんな学校づくりができると思う。しかし、それには、時間がかかる。生徒のいる間は、しっかり生徒につく。事務処理は、生徒が帰ってから行う。朝は、生徒が登校する前に、学校内を巡回し、安全に生徒を迎える。手間がかかっても子どものためにと思い、仕事をしているつもりだ。しかし、かなり時間がかかる。働き方改革と、学校と地域の方に信頼される仕事がしたいという思いの間で、どうしたらよいか悩んでいる。働き方改革のためには、効率的な仕事の仕方をすべきかとも思っていたが、総括監のお話をお聞きし、そうでもないのかとも思っています。
- 現在、教育委員会が大切にしていることがよく理解できた。ますます、教頭としてがんばらねばという決意になった。もっとやれることはないか考えていきたい。
- 現在のさまざまな教育課題において教頭の役割や責任の重さを改めて感じたのと同時に、教頭としての役割を丁寧に果たしていくことが必要であると感じました。
- 現在の学校が抱える様々な課題(不登校や特別支援児童の増加)について、共感しながら聞かせていただきました。その課題の解決と同時に現在の学校のやらなければならないことも多々あり、なかなか働き方の改革も難しいところであると感じています。人的な不足は本校においても明らかではありますが、簡単に解決できないことも理解できました。この現状においては、教頭としてできることを頑張るしかないと気持ちを新たにしました。香田先生の共感的な励ましの言葉に救われました。
- 現在の学校を取り巻く状況を的確に把握すること、「ぎふいのちの教育」をはじめとする重点を推進することの重みを感じました。そして、危機管理や不祥事の根絶の

強い意識をもつとともに、学校職員の安心や信頼を得られる存在であることができるようにしたいと強く思いました。ありがとうございました。

- 現在の岐阜県の小中学校の現状がよくわかり、支援の必要とする児童生徒が増加していることへの対応をしていかなければならないことを強く感じました。また、香田総括監様のご自身のご経験から7つのルールについてを紹介して頂けたこと、大変うれしく思いました。
- 現在の岐阜県の政策がよくわかった
- 現在の教育における問題点を、教頭としてどう向き合っていくかということについて、たくさん考えさせていただきました。たいへん参考になりました。ありがとうございました。
- 現在の現状と課題が端的に理解することができました。それに向けて岐阜県がどのような事に力を入れて取り組んでいるかということや自分自身が何をやらなくてはいけないかということが分かりました。7つの決め事はまずは5つで実践してみようと思いました。時間も短くもなく長くもなくとても為になる研修でした。ありがとうございました。
- 現在課題となっている働き方改革は、現役の教員だけでなく、これから教員を目指す人に対しても大切なものであると考えている。そこに就職して働きたい職場にしていきたい。また、香田義務教育総括監が7つのルールは教頭として大切にしていかなければいけないものであると感じた。自分もどこまでできるかわからないが、1つでも多くできるようにしていきたい。
- 現在学校が抱えている課題を的確に捉えていただき、対応を行っていただいていることに感謝しております。後半の教頭先生へのエールも、私たち教頭のことを真剣に考えくださっているお気持ちが伝わってきました。ありがとうございました。私も「ありがとうございました」と言っていただけの教頭になるよう頑張ります。
- 現在教務の職も行っており、多忙な日々を送っています。管理と指導の大切さは解っていますが、多忙さから、出来ていないことを、改めて感じました。香田総括監の「7ルール」を参考に、自分なりのルールを作りたいと思いました。
- 現状と課題を見ると、やらなくてはいけないことがたくさんあり、どれから手を付けて行こうか悩みますが、目の前の子どもたちに必要な事、10年後、20年後(想像しにくい時代ですが)を少しでもイメージして取り組むことが大切だと感じています。その為、香田先生の7つのルールのように、自分自身のマイルールをもう一度明確にして、日々の業務にあたりたいと思いました。ありがとうございました。
- 現状の厳しさを再認識しました。現在の子どもたちはもちろん将来の教育界のためにも今できることをひとつずつ着実に実行していきたいです。
- 現状を踏まえ、力強い応援をいただいた気持ちです。自分の「7ルール」は、何か。考えてみます。本校の子どもたちが素直に伸びることができるように「培う」ことに努力していきます。
- 個別に配慮が必要な児童の増加については、本校においても実感していますが、担任の先生の力量が問われることだということも感じている。そんな担任のサポートをがんばっていききたい。
- 後半のお話では、元気をもらうことができました。「7RULES」はとても分かりやすく、参考になります。自分が

できていることは継続し、できていないことは意識します。自分のルールを決めると良いということでしたが、まずはこちらを参考にさせていただきます。ありがとうございました。

- 広い視野で学校の課題を把握しながら、問題解決できるように校長先生と連携を図りながら取り組んでいきたい。
- 慌ただしく過ぎ去る日々の業務をふと立ち止まって整理することができました。職員室で先生方から声をかけてもらえることを励みに、今後も目の前の業務に真摯に向き合っていこうという前向きな気持ちになりました。ありがとうございました。
- 校務のため、17日(金)当日の視聴が叶いませんでした。自分の力不足を痛感することも少なくない中、ご講話に励まされました。私も「教頭に尋ねれば、何でも答えてくれる」というのが理想のひとつですが、いつまでたっても難しいものだと感じます。今後も引き続き精進します。ご指導をありがとうございました。
- 講話の前段の「教職員数の維持」「少人数学級の実現」「教科担任制の実施」「義務教育学校の設置」等を含め、教育現場の最重要課題や、後段の「7ルール」等を通して、日々頑張っていることに大いに励まされました。ありがとうございました。
- 香田義務教育総括監様、ご講話ありがとうございました。また、現場の困り感やニーズに応じた施策を県教委として推進していただけていることに感謝申し上げます。本校では、今年度から「いじめ・不登校等未然防止アドバイザー事業」をすることになりましたが、担当の橋本アドバイザーから全ての学級の授業参観と参観を通じた支援の在り方についてご指導いただいているところでございます。「ぎふのちの教育」にも関わる事業となることを踏まえ、年間3回を線でつなぎ効果を検証していきたいと考えます。また、7ルールについては、現在の自分の教頭としての行動や構えを見直すよい機会となりました。生き方にも関わりますが「迷ったら面倒な方を選ぶ」をはじめ、自分なりのルールをこれから作成していきたいと思っております。ありがとうございました。
- 香田義務総さまがお話いただいた7ルールのように、自分自身も大事にしてきたことがあります。毎日「ありがとう」をいうこと。手を止めて目を見て相談にのること。足で稼ぐこと。これに4つ加えた7ルールをつくり、今年一年頑張りたいです。また、職員室の担任として、一人職の先生を大切に、どの先生も成長に導くための存在でありたいと思っております。「培う」「養う」「育む」などの言葉の意味をかみしめながら、違いを考えながら関わっていきたくたいです。香田先生、ありがとうございました。
- 香田先生、ありがとうございました。前半については、国への要望として、現場で抱える様々な問題(本校では人員不足・欠員に対する補充なし・配慮児童の激増など)を届けてくださっており、ありがたく思います。一番興味があり、心に届いたのは、やはり先生のご実践でした。香田先生のご経験に基づいた「7つの決め事」は、本当にその通りだと実感しました。ルール2については、見回り程度はしていましたが、先生のように「必ず教室にいる」はとてできていません。しかし、子どもの状態や先生方の指導を見ていくには一番大事だと感じました。ルール4、5、6は、私も頑張っています！と言えます。そして、6は、しっかりと心に刻みました。昨日も

一人学校に残り、プールに関する面倒なことに取り組んでしました。しかし、危機管理上大事なことでありました。香田先生に褒めていただいた・認めていただいたような気になりました。うれしい気持ちになったところです。15分の研修でしたが、実り多い研修でした。ありがとうございました。山内峰子

- 香田先生が教頭時代に「7つの決め事」を自ら課していたというお話を聞いて、この7つとも私にとっては大切にしていかなければならないことだなと思ひ、資料を印刷していつでも見れる場所(職員室机上マット下に挟む)におかせていただきました。学校のために、子どものために、職員のために、自分のモチベーションのために、今後も自己研鑽していきたいと改めて思いました。
- 香田先生が教頭職に就いていらした際に心がけてみえた『7RULES』に共感しました。子どもたちにとって、また職員にとってプラスとなることを『「管理」と「指導」の改善・充実』を視点により具体的に掲げ、実践していきたいです。子どもたちにも、若い職員にも、生きる力を培う教育を邁進していきたいと考えています。ありがとうございました。
- 香田先生の「教頭先生へのメッセージ」を聞いて大変やる気が出てきました。
- 香田先生の7つの決め事を聞きながら、自分を振り返ってみました。先生方のよいところを子供や保護者にたくさん伝えることが一番できていないのではないかと感じます。保護者や子どもたちの信頼を築くために自分しかできないことがそれではないかと感じます。自分しかできないことを今一度よく考えて、自分なりの決め事をつくり、実行していこうと思ひました。ありがとうございました。
- 香田先生の7ルールには共感するものがあつた。なかなか自分ではできていないことも多いが、改めて心がけていきたい。
- 香田先生の7ルールのいくつかを実践してみようと思う。
- 香田先生のお話には、いつも勇気づけられます。誰からも「ありがとう」と言ってもらえる自分になれるよう努力していきます。仕事における「自分のルール」を確かなものにしていきたいと思ひます。ありがとうございました。
- 香田先生のお話を聞かせていただき、岐阜県教育の現状と課題について勉強させていただきました。また、7RULESのお話からも教頭として改めて「がんばろう！」という気持ちをもつことができました。ありがとうございました。
- 香田先生のような実践はまだできていないと反省しております。自分が心がけているのは、先生達にも子どもたちにも上機嫌で接することくらいです。
- 国や県、市における施策やその取り組み状況をキャッチするアンテナを高くし、広い視野から自校の教育活動を捉えていくようにしたいと思ひました。特に、不祥事根絶については、適宜、教職員に自覚する機会を作っていく必要があると感じています。「管理」と「指導」の改善・充実においては、本校のミッションも踏まえたうえで、授業を通して先生方・子どもたちのよさを伝えていきたいと思ひます。ルール7の「迷ったら、面倒な方を…」については、後々考えると、安易な方を選ばなければよかったということが多々あります。このルールは、自分にも取り入れていきたいと感じています。

- ・今、何をこそ大切にしなければならないのか、それを見極めることが、様々な教育課題の解決につながっていくと考えています。講話を拝聴して、今立ちほだかる課題が改めて整理されました。そして、教頭として、これからどのように動いていくか考えさせていただくことができました。ご指導いただき、ありがとうございます。
- ・今、学校現場を取り巻く状況は様々に変化しており、それに対して柔軟に対応していく必要性を実感しました。7つの決め事の中で、「迷ったら、面倒な方を選ぶ」というのが心に残っています。自分の経験からも実感する部分なので、その後のことも考えて、自分自身はもちろん、先生方にもそのような対応をしてもらうよう、一緒に取り組んでいきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・今、岐阜県が抱えている課題がよく理解できました。また教頭としてのルールづくりだったり、仕事のモットーだったりすることがとても参考になりました。これからの仕事に対して勇気の出るお話を本当にありがとうございました。
- ・今できることプラスさらにできることに取り組み、子供たち、保護者、地域の方々に笑顔と感謝の気持ちを忘れず、勤めていきます。貴重な講話ありがとうございました。
- ・今の教育の現状と課題を再認識することができた。重点項目である「ぎふいのちの教育」について本校でも重点指導内容として取り組んでいきたいと強く感じた。
- ・今自分たちが実施している職務の事をよく理解し、ねぎらいの言葉をいただき、大変うれしかったです。昨年度から新型コロナウイルス感染防止対策、GIGAスクール構想の対応など普通の業務に加えて様々な対応があり、正直業務に対して厳しさを感じていました。いろいろな先生方に支えられこれまでやってこれたと校内の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。しかし、香田先生がおっしゃるように学校の要となるべき立ち位置にいる自分としては、強い気持ちをもって取り組まなくてはならないと思っています。香田先生の「7 RULES」、とても参考になりました。どれも教頭として大切なことだと思いますし、やっていかなければならないことだと感じました。教頭としてもう一度原点に立って子ども達のため、先生方のため、そして学校のため取り組んでいきたいと思います。本日は、本当にありがとうございました。
- ・今日の教育を取り巻く環境とその解釈について、エールをいただいたように感じます。先生方ひとり一人が元気に働くことができる環境づくりに積極的に取り組んでいきたいと強く感じました。
- ・今日的な課題が共有でき、今後の職務の参考となった。
- ・今日的な課題をもとに、職員をリードすることができる教頭でいたいと改めて感じました。「教頭先生ありがとう」と言ってもらえることはほぼなく、職員の先生方に「ありがとう」と言っていることばかりの自分の働き方を反省しました。
- ・今日的な課題を具体的資料を提示されながら話してください、大変勉強になりました。また、自校で当てはまる部分については、改善していきたいという思いになりました。7つのルールのお話を聞き、子どもを褒めることはしているが、先生方を褒めるという点に弱さがあると感じ

- たので、良いところを見つけ伝えていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・今日的課題や、岐阜県が重点的に今取り組んでいる施策が端的に分かり、とてもよかったです。教員の不幸事についても、毎月コンプライアンスチェックをして、各自でふり返ってもらっていますが、継続していきたいと強く思いました。
- ・今日的課題を踏まえた教頭としての役割の大切さを再確認いたしました。だからこそ、なかなか「働き方改革」の先頭には立ちにくいとも感じました。
- ・今日的課題を明確にお示しいただき、大変わかりやすかったです。教頭として、あらためて「危機管理」「信頼関係」「人材育成」「教育指導」の視点で自身を振り返り「自分のルール」をつくってみたいと思いました。生徒に「未来を切り拓くたくましさ」を身に付けることができる学校を目指したいと思います。本日はありがとうございました。
- ・今年度の異動によって、慣れた環境から新しい環境に変わり、毎日何とかやり切っているところです。そんな自分にとって、改めて自分自身を振り返る機会を与えていただいた気がします。ありがとうございました。
- ・今年度より、初任教頭として勤務させていただいています。毎日をこなすのが精一杯で、学校の要的な存在にはなれずにはいますが、今日のお話をお聞きして、背中を押していただけたような気がしています。明日から私なりのルールを作り、目標をもって取り組めたらと思っています。今何が課題となっているのか、県教委の取組も、よく理解できました。
- ・今年度より、新任教頭となりました。教頭として、子ども達や、先生方、保護者に対して誠実に対応したいと改めて思いました。香田先生からご教授して頂き、早速、給食時間に校内を回っています。いつも自分にできることは何かと考えながら、地道に頑張ります。香田先生、温かいメッセージを頂きまして、ありがとうございました。
- ・再度、教頭の心構えを確認することができ、新たな気持ちで明日から頑張ろうと思いました。特に、学校内のことを何でも知っていることができるように、視野を広くしていきたいと思いました。
- ・最近の国・県の状況や動向、その対策について大変よくわかりました。また、後半は教頭の職務の大変さと、その中で香田先生が大切にされていた7つのルールは、「教頭としてのやりがい」を自分で生み出すことにつながると思いました。私ももっと教職員の良さを生徒や保護者、地域に伝えていきます。
- ・最後の「培う」のお話が、改めて自分の心に響きました。個人的には、コロナ禍から再度教育の立て直しをする出発の年が今年度であると考えています。停滞していた学校の空気感を変えるにはどこから手をつけ、どのような方法をとるのか迷うところですが、本日の話を聞かせていただき、どの生徒も心の奥底にもっている成長したい思い、学びたい思い、思い、人と関わりたい思いを振り所にして教育活動を進めていきたいと強く思いました。ありがとうございました。
- ・最初にお話のあった現状については、勤務校でも感じていることであり、様々な問題に日々対応しているところです。特に人材不足は深刻です。できるだけ職員の負担とならないように自分が動くようにしていますし、今年度から赴任しましたので、どんなことも関わって学

校のことについて知っておくようにしています。しかし、十分に時間はないのが現状です。気力と体力を持たせて、何とか学校で迷惑をかけないようにやっている状況です。しかし、お話を伺う中で、まだできていないことがあるということに気づかされ、まだまだ努力が足りないと思いました。何とか時間を捻出して、さらに努力していくつもりです。

- 最新のデータをたくさん示していただき、子どもの状況や学校の状況からの課題を具体的な数値で把握することができました。だからこそ教頭としてどう取り組んでいくのか、自校の課題、自分の課題をより具体的にはっきりとさせていく必要があると感じました。また、このところの岐阜県における教員の不祥事が世間を騒がせており、その事例をもとに、再発防止に向けて繰り返し繰り返し研修を行っていかなくてはいけないと感じました。最後の「教頭先生、ありがとう。」での自分の中の決め事は、新任教頭として何かと不安や迷いがある中で、これからのぶれない自分づくりに役立てていきたいと思いました。ありがとうございました。
- 昨年度も温かいお話しをお聞きすることができました。今年度も、心に残るお話でした。特に、7つのルールは、なるほどと頷けるものばかりでした。なかなかそのとおりにはいきませんが、いつも心に留めて、実践しなくてはとあらためて思いました。
- 山積する教育課題にどのように向かっていくのか。教頭一人の力で何とかなる問題でもない。もちろん最善は尽くすが、こうした困難な時代だからこそ、職員の同僚性が必要であると考えている。なんでも話せる関係、切磋琢磨できる関係など、私はこのような職員関係を中核において、日々、生活したいと思っています。
- 仕事はたくさんあるが、やり甲斐を感じています。今では、1日があっという間に過ぎるほど、充実しています。ありがとうと言われる毎日を目指して、先生のご実践も真似させていただきながら、頑張る所存です。
- 子どもたちのもっている力を導き、手を添え、背中を押すなどして、確かな成長へつなぐという考えに大変共感しました。いつも香田総括監様の温かいメッセージに背中を押される思いです。
- 子どもたちを取り巻く学校環境は目まぐるしく変化しており、様々な学校課題があります。教頭が果たす責任や役割の大きさを改めて感じました。本校においても、いじめや不登校をはじめ、様々な課題があります。子どもたちの命を第一に考え、日々学校づくりに努めていきたいと思えます。
- 子どもの状況、学校の状況、今後の方向性、不祥事根絶等、幅広く学ぶことができた。今回の研修を生かし、管理と指導の改善・充実に努めていきたい。
- 子どもの状況、学校の状況ともに厳しい中での教育実践に向けて、的確な視点と心遣いを感じたメッセージでした。自分自身の教員人生とともに後輩へ受け継ぐ(人材育成)ことの難しさも感じました。
- 子どもや学校の状況が大きく変化する中で、その状況を的確に把握して対応していくことが大切だと感じました。県として様々な施策を行っているので、その趣旨やねらいをよく理解して確実に推進していけるよう努力したいと感じました。香田先生には、ご自身の経験から教頭における大事なポイントを教えていただき大変参考になりました。自分も大切にしている事をこの機会にま

とめてみようかなと思っています。ありがとうございました。

- 子ども達や教職員を取り巻く現状に合った施柵が示されています。特別支援の充実については、特別支援学校・学級を担任しなくても、学んだことは、通常学級にいる一人一人の困り感に対応する力を育成できるので、ぜひ充実していただき、できることは行っていこうと思いました。また、教科専門職員の派遣も、教育技術や支援のポイントを学ぶことができ、とても子ども達の力になると思います。「培う」を大切に子ども達の確かな力をつけるために自分自身や教職員の力を高めていきたいとおもいました。
- 子供の状況を見て、改めて大変な状況であることを実感しました。本校でも不登校傾向児童の増加が課題です。7ルールは私もやってみようと思いました。ありがとうございました。
- 支援を要する児童の増加を肌で感じています。より一層、職員と共に毎日気かけながら支援・指導に当たりたいと思いました。
- 私が勤務する小学校は、ほのぼのとした土地柄の過疎地域にありますが、それでも、本校を卒業した児童の中に、進学先の中学校で不登校になってしまったという事例が2件あります。今、学校現場が抱える児童生徒を取り巻く様々な問題は、どんな地域環境の学校でも起こりうる問題であると痛感しています。私は、教頭職にある者として、若い先生方にも、特別支援教育や教育相談の研修を積極的に受けていただき、特別の支援を必要とする児童生徒の困り感に応えられる力量をつけていただけるように、働きかけていきたいと考えています。また、私自身も、健康が続く限り、退職後も再任用や非常勤等で教師不足の学校現場を少しでも支えられたらと思っています。さらに、講師の香田先生は、先生が教頭時代に実践していらっやった7つのルールを紹介しながら、私たち教頭に向けてエールを送っていただきましたが、教頭職にある自分自身の現在を見つめ直すよい機会になりました。私は、全校児童の自宅の場所と家族構成を把握するとともに、地域の方々とコミュニケーションを図り、学校教育に地域の力を取り込むことに力を注いでいます。また、担任の先生の見えないところでの努力の姿などを、できるだけ児童や保護者に話したりするように心がけています。香田先生が実践していらっやったことと重なる部分もあり、自信をもって続けていこうと心を新たにしました。一方、こまめに教室に足を運べていないことや、十分教職員の相談に乗っていないことを反省し、少しでも実践できるように取り組みたいと思いました。力強いエールをありがとうございました。
- 私たちへのねぎらいのお言葉に大変感謝いたしております。「職員と子どもの笑顔」が私の評価として捉え、本校における現在の課題「特別支援教育の充実」「通常学級に在籍する要配慮する生徒」「不登校生徒対応」等にチーム竹鼻としてみんなで頑張っていきます。ありがとうございました。
- 私たち教頭の大変さを十分に理解してくださり、本当に感謝します。身を削ってでも頑張ります！
- 私のこだわり①1日1回、できれば朝、全クラスを周りおはよう～とおおきな声で入っていくこと。②朝勤務時、退校時には必ず聞こえる声であいさつ＋ひと言をしています。

- 私は、まず「がんばれ！教頭先生。」という演題に惹かれました。内容について2点について述べると、一点目は、いろいろな仕事がある忙しい日々ではありますが、それらを4つの視点でまとめた9ページの内容を自分に置き換えて考え、取り組んでみたいと思いました。2点目は6ページ目の不祥事根絶の資料が、近年の岐阜県で起きた事案でニュース等でも見聞きし、身近な事案がまとめられていたので、早々にコンプライアンス研修の資料に使用できると思い、ありがたく思いました。私の学校には、「あしがとうございます。」と言ってくださる心優しい先生方がいっぱいいらっしゃり、私自身たくさん支えられています。子どものため、先生のため、地域の為がんばっていきたく改めて思いました。
- 私は「この7つ」を心がけているというのは何だろうと考えさせられました。
- 私は教頭経験がとても長く、そして残りあと2年です。教頭という仕事は、いつも縁の下の力持ちで、見えなところで色々考えて動くことが多く、たくさん配慮してもなかなか感謝される機会は少ないです。仕事内容も多岐に渡り、毎日忙しいわりには、今日の成果は何だっただろう、何をやってたかわからないけど、とにかく忙しい・・・という毎日です。しかし、その中でも子どもたちや保護者、地域の方々、先生方と関わっていく中で、少しでもその人たちの生き方に役立てるよう働きかける機会が1番多いやりがいのある仕事だったなど、今振り返ります。あと2年ですが、頑張っていきたいと思えます。
- 私も、先生方から感謝の言葉をいただけるような働きをしていかなければ、と思いました。
- 私も7ルールのように、決意表明としてまとめてみようかな、と思いました。毎日やるのが満載でなかなかペースがつかめず、校長先生の補佐どころか、逆に補佐していただいている状況です。自分から学校の事や昨年までの流れなどを把握し、自分で業務を遂行できるように励みたいと思えます。
- 私も自分なりのルールを決め、生徒のため、教職員のために力を尽くしたいと思えます。ありがとうございます。
- 私達のためにメッセージをありがとうございました。自分の7ルールって何だろう？と考えさせられました。先生方が楽しく仕事ができる事が一番と思って仕事をしていますが、自分の7ルールを作っていくことも大切だと思いました。
- 児童、保護者、地域のみなさんの思いを大切にしながら、日々の業務に励みたいと思えます。ありがとうございます。
- 児童や教職員、保護者、地域等が様々な課題を抱えている現在である。反面、それを乗り越えようとする児童や教職員や関係する方々もいる。そして、その児童や教職員、保護者の方々に支えられていることも多くあることを再確認するとともに、義務教育総括監様が実践してきた「7RULES」のように、今私ができることを掲げ、私自身と学校に関わる人たちが確かな成長ができるよう努力する決意となりました。背中を押していただける講話、ありがとうございました。
- 児童数および職員数の推移や、今学校が向き合う課題（授業改善、コロナ感染症対応、地域に開かれた学校づくり等）を再認識した。自分の多様な職務をどうこなすのか時には戸惑うこともあるが、自校の子ども達や

- 教職員の様子を踏まえて、「迷ったら面倒な方を選ぶ」というお言葉を心に刻み、教頭として努めていきたい。
- 自校の現状を見ても、いじめ・不登校未然防止、授業改善や教員の資質向上は急務であると感じます。一方で、保護者対応や生徒指導案件、授業等における職員の疲労感や困り感が大きいのも事実です。今回の講話の中の、「先生方の良さを子どもや保護者、地域の方にたくさん伝えていくことが信頼関係を築くことにつながる、という点について、すぐにでも実践していきたいと思えます。職員も子どもたちも「明日も来たい！」と思える今日を作るために頑張りたいと思えます。ありがとうございました。
- 自分が何を大事にして教頭として生活しているかをもう一度原点に戻って考えなければならぬと思えました。厳しい時代だからこそ何ができるかを考えて行動しようと思えます。
- 自分なりにこれだけは毎日心がけようという目標を立て、前向きに勤務できるようにしたい。
- 自分なりの7ルールを明文化し取り組もうと思えました。
- 自分なりの7ルール大変勉強になりました。多忙な日々の中でも子ども・職員のよさを見つけひろげること努めてまいります。
- 自分なりのセブンルールを作成してみようと思えます。扇の要という意識はありますが、周りの先生方の力もたくさん借りながら子どものためによい学校を作りたいと思えます。ちなみに、ちなみに、教頭になってからの1つ目のルールは職員に話しかけられたら仕事の手を止めて、目を見て話を聞くことは4月から心がけています。
- 自分にできることから実践することで、改善されることもあると考えました。
- 自分に任せられた職責を再確認しました。自分なりのRulesを決めて、やるべきことをきちんとやりきり、子どもたちや先生方、保護者や地域の方々に信頼される存在に近づいていきたいと思えました。
- 自分のマイルールを決めようと思えました。大変なことは多々ありますが何とかやっています。若手教員の育成には難しいところもあると思えました。
- 自分の今後の課題が明らかになった。また、岐阜県の現状と課題を本校のそれに置き換え、職員へ伝えていこうと思った。
- 自分の中で7ルールとまではいなくても、同じようにこれだけはと思ってやっていることがあります。生徒が先生方が自分たちで成長していけるように支えていく存在でありたいと思えました。ありがとうございます。
- 自分も70ミリの様なことを決めて教頭として取り組んでいきたいと感じました。
- 自分も7ルールを肝に銘じ、自分なりのものを構築しながら職務に臨みたいと思えます。
- 自分も7ルールを作って頑張ろうと思えました。ありがとうございます。
- 自分もルールを決めて行っていることがある。香田先生の7つのルールも参考になりました。
- 自分自身への決め事は、私自身もやってはいましたが、教頭としてもう少し視点を広げて設定する必要を感じました。担任の先生方が働きやすい現場を作りたいという思いがより強くなりました。ありがとうございました。

- ・自分自身を振り返るいい機会となりました。ありがとうございました。
- ・自問自答をしました。私が教頭としていて皆さんに「安心感」はあるだろうか？「ありがとう」と言っていただけだろうか…。精進したいと思います。
- ・七つの決め事にとっても納得ができました。すぐに実践したいと思います。
- ・失礼かと思いますが、香田様のお話をお聞きして「元氣」をいただき、明日からの活力ができました。ありあとうございました。7つの約束について、自分なりに先生方と子どもたちをイメージしながら考えてみたいと思っております。貴重なご講演をありがとうございました。
- ・取り組むべき課題は大きいと感じるが、目の前にいる子ども達のために、継続して努めなければと改めて確認することができた。お話、ありがとうございました。
- ・初めての特別支援学校での部主事という立場です。7rulesにある、とにかく学校のことは何でも知っている。何度でも、一声添えて挨拶を交わす。特にこの2つを心がけています。今後も「管理」と「指導」の改善、充実を意識していきたいと思っております。ありがとうございました。
- ・少しへこたれ気味の日々を送っておりましたところへ、7ルールのエールをいただきました。勇気を得てまたがんばろうという思いが募りました。ありがとうございました。
- ・職員のよきリーダーとなれるよう、視野を広くし児童や保護者、教職員に向き合いたいと思っておりました。貴重なお話をありがとうございました。
- ・職員の成長、子供の成長につながるようリーダーシップを発揮したい感じました。
- ・色々課題に感じていたことが、本校のみならず岐阜県の課題であり、教育界の課題であると改めて感じた。厳しい時代であるが、教頭として工夫し、自分にできることを具体的に持って取り組んでいこうと改めて感じた。
- ・新任教頭で、反省ばかりの毎日ですが、香田先生の7ルールのような私のルールも、夏休みには考えてみたいと思っておりました。子どもや職員に声をかけることだけは、今も頑張っていると思っております。県の状況なども、コンパクトにまとめて示していただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・新任教頭で至らぬ点も多々ありますが、校内の職員の先頭に立ち、何事にも取り組んでいく必要を感じました。
- ・新任教頭として、なんとか見通しをもって業務を遂行しようと、日々手探りで充実した毎日を送らせていただいております。先日は、コロナ禍の新しい研究発表会のあり方を、模索しながら、皆様の御協力をいただきながら、初めて教頭という立場で経験をさせていただきました。改めて、幅広い視野と多くの方々とのつながりの中で、子どもたちを育てているのだという実感と、教職員を束ねる教頭としての責務を感じているところでございます。日常的には、多くの業務の優先順位に悩まされるところではございますが、香田義務教育総括監のご経験から学ばせていただいた、7つのルールが、大変参考になり、学ばせていただきました。教頭としての任務はまだまだ始まったばかりでございまして、子どもたち、家庭、地域、教職員から信頼されるよう努めていきたいと肝に銘じたところでございます。
- ・新任教頭として赴任し、先の見通しをもてず、あわただしい毎日を過ごしています。今回、香田様からのメッセージをいただき、児童・学校・地域のことを少しでも知ることができるように、自分は何を心がけるのかを考え、実践し、振り返る。これを繰り返すことで、自分の中のポリシーを作り上げていきたいと思っております。ありがとうございました。
- ・新任教頭なので、大変参考になりました。
- ・生徒や先生方が楽しく学校で過ごすことができるように、常にアイデアを出し、改善に努めなければならないなと思っておりました。また、不祥事を未然に防ぐことができるような研修を行う必要があると思っておりました。ありがとうございました。
- ・責任と使命を再確認しました。
- ・先生のお話にあった「7RULES」は自分でも意識していることが多い内容でしたが、「いつでも」、「何度でも」という意識をさらにもって行きたいと感じました。
- ・先生方のよいところを子どもや保護者にたくさん伝えるを実践したいと思っておりました。
- ・前半の岐阜県教育の現状では、特別な配慮を要する児童の増加についてお話いただいたが、勤務校も特別支援や不登校傾向の児童が増加しており、日常強く感じている課題を再認識した。その中であって、若手教員への指導の必要性やコロナ対応も含めた危機管理が求められる状況にあり、指導と管理の改善・充実が求められていることもよく理解できた。後半の7rulesの視点で自分の動きを振り返っていく。特に、rule6「保護者に伝える」を実践してみたい。本日は、ありがとうございました。
- ・前半の現在の教育における課題解決に向けた県の取り組みについては、非常に多くの問題が山積する中でどの方法が一番よいかを決めることはできないし、決める意味もないが、やはり行政サイドが教育にお金を出し、優秀な人材を確保することがより求められているのではないかと感じる。教頭に対するエールについては、香田先生の7ルールのうち子どもの素の姿が荒らされやすい場面を見に行くこと、迷ったら面倒な方を選ぶが参考になった。ぜひ、実行してみたい。
- ・前半は、県の課題から何を意識して指導改善に努めるとよいのか見直す機会をいただけてよかった。また、後半では、自分の視野の狭さ、指導の未熟さを見つめ直すことができよかった。できることから即実践したいという思いです。ありがとうございました。
- ・前半は改めて岐阜県の現状をお聞きし、特に教員不足の内容が心に残りました。大きな変革が必要な時だと実感しました。後半では「職場の安心感」を作り出すのは、やはり自分の大きな仕事であると確認できました。
- ・前半印象に残ったことは、岐阜県教育の現状がとても厳しいものであることです。そんな中でも、教頭が自己の裁量を存分に発揮し先生方が働くことに生きがいがあるようにすることが大切であると感じました。後半については、7RULUSの中で先生方のよさを認め広げていくというところに強く共感できました。先生方が自信をもって子どもたちに指導ができるよう今後も子どもや保護者に先生方のよいところを伝えていこうと思っております。
- ・前半部分は岐阜県における学校の現状について、ご説明があり、これからますます大変になってくるのであるが、今後自分には何ができるのか、考えさせられまし

た。後半では、香田先生の実践されたこととお話になり、自分もしてみたいことばかりだと感じました。ありがとうございました。

- 相談されることに喜びを感じられる教頭でありたいと改めて思いました。
- 多くの諸先輩方から一番苦しかったのは、教頭時代だったという話をよく聞く。昨日まで教諭だったのに、ある日を境に管理職となり、その瞬間から先生方に頼られたり、そういう目で見られたりする。その期待や要望に応えようとすると当然やることは増えてきて勤務時間も増えてくる。それでも働き方改革は推進しなければならない。このような矛盾とも葛藤しながら日々を過ごしている。ただ、やっぱり人と人が関わりあう仕事である以上、子どもたちとも先生たちとも、保護者とも地域の方とも良い関係を築きたいという思いは変わらない。自分は変わらなくても、周りは管理職という見方をする。だから、この立場の重みや影響力を考え、明日からも香田総括監様のエールを励みに頑張りたい。
- 多岐に渡る教頭の仕事で日々追われているのが現状です。しかし、幸田先生のお話を聞かせていただき、教頭という立場を改めて認識し、自分の中でも、目的(約束)をもってやりきる強い思いをもって頑張っていきたいと思いました。ありがとうございました。
- 多様な課題が山積する中、分かりやすく焦点化した話していただいたおかげで、自分自身の課題を見つめ直すことができました。
- 対応を求められることが多く、振り回されそうになっていましたが、講演を聞いて、自分なりのルールを改めて意識することで、大切にすることを見失わずに対応していきたいと思いました。
- 大切なことを思い出させていただきました。どんなことをしていても、願いのない仕事ではだめだなと思いました。私も職場の先生方にありがとうと言われるような心のある仕事をしていくようにします。7ルールについても自分を振り返ることができました。ありがとうございました。
- 大変、勇気と勤労意欲の向上をいただいた気分です。
- 大変勉強になりました。セブンルールズ見習いたいです。ありがとうございました。
- 大変勉強になりました。また、頑張ることが職員、子どもにとって必要なんだと思いました。
- 大変勇気づけられました。日々努力していることをこれからも続けていこうという前向きな気持ちになれました。
- 提示していただいた資料が、特に参考になりました。現在の岐阜県の状況、今後大切にしていけるべきことがわかりやすく参考になりました。7ルールズ、できていないなあと反省しつつ、時代に合った教育を行えるよう努力していきたいと感じました。
- 働き方改革・ICT・コロナ対応・熱中症対策等、多忙な中でも職員たちの前では笑顔で元気よく引っ張っていく存在でありたいと、改めて感じました。
- 働き方改革と教員不足は、本当に関係が深いように思います。本校においても加配ではありますが欠員があり、先生方の業務はひっ迫していると感じます。早く帰っていただきたいですが、話を聞くとやらざる負えないことがほとんどです。子どもたちにもっと、もっと教員の魅力を知ってもらい、魅力ある職業を言えるものになってくれると感じます。一番印象に残ったのは、7ルール

です。人事評価表の中に自分なりのルールを入れて目標をつくり日々過ごしていますが、大切なことだと感じました。先生のルールを参考に自分のルールを再度検討してみようと思いました。

- 特に、不登校傾向の生徒対応や配慮の必要な保護者への対応などで、苦慮している日々ですが、大変励みになりました。ありがとうございました。
- 特に7RULESが考えさせられた。自分にはこのような明確な決意がなかった。教頭としての自分なりの具体的な決意を持つことが必要だと感じた。
- 特に7ルールについては、今後の職務に生かしていこうと思いました。
- 特に香田様の、教頭時代の7つの決め事が参考になりました。自分で決めたことだから踏ん張れる気がします。勇気がもらえました。ありがとうございました。
- 特に心に残ったことは、最後の「子供たちのだれもが持っている、自ら伸びようとする芽を引き出し、導き、手を添え、背中を押す等して、確かな成長へとつなぐという考え方」という言葉です。教頭職に就き、様々な仕事をする毎日であるが、根本は、この言葉につながると思います。「子供たちのために」「子供たちの気持ちを第一に考え」「子供たちにとってどうか」を常に頭に入れて、日々の業務に取り組んでいきたい。そして、子供たちを支えている保護者、教職員のことも、同じように大切にしていきたい。
- 特別な支援を必要とする生徒数が増えているという実感があります。そういった生徒の対応で先生方が疲弊してしまわないようにコーディネートをしっかりとしたいと改めて感じました。
- 特別な支援を要する児童の増加、特別支援教育力の育成と、県の課題そのままが自校に当てはまることを再認識できました。まずは、県の施策のいくつかについての取組を進めていきたい。また、香田先生の教頭時代の7ルールを自分に当てはめ、自分の課題を明らかにすることができました。
- 特別な配慮が必要な児童生徒の増加、教師不足、教職員の不祥事など、様々な課題が山積するなか、教頭として、教職員が安心して子供や保護者に向き合うことができるように、まずは信頼関係を築き、「培う」という考え方で指導援助することで、安心感を持ってもらえるような教頭でありたいと強く思いました。また、教頭の仕事は多岐にわたるため、香田先生がお話しされたように、「マイルール」をつくり、何事にもポジティブに取り組むことができるようにしていきたいと思えます。ご高話ありがとうございました。
- 特別な配慮をする生徒の増加は、現場でも感じているところです。自分が教頭として大切にすることを再度決め出して取り組みたいと思えます。
- 特別支援や配慮の必要な生徒が増加していることが実感として日々の生活の中で感じ取れます。教員不足の中で教頭が果たす役割は本当に大きく、あらゆるところにアンテナを張っていかなければならないと改めて感じました。職員研修として打合せでコンプライアンスを考えていますが、誰でも自分の身に起きうることとして考えさせるようにしています。自分も香田先生のようなルールを決めて、始めてみようと思いました。大変分かりやすい内容で早速取り入れてみたいと思えます。ありがとうございました。

- 日頃の業務の重責を改めて認識することができました。ありがとうございました。
- 日常の業務の中で、自分のルールを決めて勤務することについて、そのことが自分自身の教育観や実践力を養うもとなのだと感じました。業務に追われて…と思うのか、このことをやりがいとして勤務すると思うのかは雲泥の差だとおもいました。今一度、自分と職場の先生方を見つめ、どうすることが先生方やひいては子どもたちのためになるのかを考えて、自身の7ルールをもって勤務したいと思います。本日はありがとうございました。
- 日々、クレーム対応に追われていて、かなり疲れている状態ではありますが、今日の研修の中で「教頭先生ありがとうございます」と言われると頑張ろうという気持ちになれます。子供たちはもちろんのこと、保護者からの言葉は励みになります。また、自分自身も毎日、必ず各教室に行き、子供たちに「おはよう」と声をかけるようにしています。これからも続けていきたいと思っています。ありがとうございました。
- 日々のICTの導入に関わって保護者や職員対応や整備に追われ、またコロナ感染予防に関わっても、保護者、子供諸活動全てにおいて今までとは違う視点に立って提案や対応を追われています。しかしながらそれを言い訳にはいけないとお話を聞いて思いました。働き方改革との両立は難しい点もありますが、教職員との信頼や相手への思いやりを大切にやれることを確実にやっていくことが大切だと思いました。私自身もルールを決めやり切ることを目標にして毎日笑顔で頑張りたいと思いました。
- 日々の業務に追われて、なかなか余裕がありませんが、誰の相談にも乗ることは心がけています。香田先生のように7つとはいかないまでも、自分なりのルールを大切に、これからも教頭として頑張っていこうと思います。ありがとうございました。
- 日々の業務に追われていると、ついつい視野が狭くなりがちです。総括監のお話を拝聴しながら、今何をすべきなのかも一度確かめることができました。ありがとうございました。
- 日々の業務に追われる中ですが、さらに広い視野で学校全体を見ていかななくてはと感じました。
- 日々の業務の中、忙しさの中で置き去りにしていた大切な考え方や自分の思いを考えを新たにしたり、自覚しなおしたりすることができました。大切な内容が短時間の中に盛り込まれており、認識を新たにしました。
- 日々の忙しさの中で、目の前の仕事や問題を解決することに終始してしまっているが、講話の中で学校として推進すべきことや継続的、長期的な取り組みの中で解決すべきこととお話いただき、その一つ一つの重要性をあらためて感じました。
- 日々業務に追われる毎日ですが、改めて教頭として大切にすべきことを考える機会をいただきました。ありがとうございました。
- 日々様々な業務をこなしてる中、教頭としての立ち位置・役割を改めて見直すことができました。子供の確かな成長をめざし、「培う」の実践を自分はもちろん、他の職員も重ねていけるように具体的に動こうと思えました。
- 熱のこもった話ぶりに、引き込まれ拝聴させていただきました。先生が示された7ルール、自分自身の実践と重なることが多くありました。いま一度、強く意識して日々を過ごしていきます。
- 非常に課題が山積している教育現場であることが改めて認識されるメッセージでした。今できることは精一杯行っているつもりでした。セブンルールのお話を伺いさらに頑張っていこうと思いを新たにすることができました。有り難うございました。
- 不祥事の根絶も含め、学校で起こる諸問題は、健康で安心して務められる職員がいるからこそ解決できると考える。不登校、外国人、特別支援の個別最適な学びや、コロナ、GIGAスクール、地域連携と様々な課題が個々の職員に求められる現状に対して、働き方改革も同時に求められる。職員たちが疲弊しないような支援体制や、管理職からのサポートについて、そして、教頭1年目として、自分なりのポリシー、ルールについて改めて考えさせられました。
- 不祥事は他人事と捉えず、自分の職場での職員へのアンテナを高く保つことが必要だと思います。職員とのコミュニケーションを図りながら、職員の態度や気持ちの変化に敏感になることを心掛け、人間関係でのストレスの少ない職場になるよう教頭として潤滑油的な役割を果たしたいと思いました。
- 不登校・特別支援が必要な児童の増加・教科担任制による担当教師によって様相を変える子供たちの姿・初任者をはじめとする職員の精神的疲労など、まさに学校における課題は蓄積しています。また、コロナ感染における報告や書類提出、保健所のやりとり、休業日の連絡のための緊急携帯の必携など教頭の仕事は多種多様だと実感しています。新任教頭として職員や児童をよく見ていかなければと思いつつ、目先の書類や事務仕事、電話対応に追われていることを反省する日々です。職員が話しやすい環境や教頭としての雰囲気を出していくことがすべての早めの対応につながっていくと思います。学校経営の合言葉が「承認のシャワー」です。児童だけでなく教職員にもシャワーをかけていけるように視野を広げて仕事に向かっていきたいと思つています。教頭として成長できる毎日であるように、自分だったらこの事案をどうするかを常に考えて行動していきたいと思つきました。今の学校現状は自分だけではないことがわかり、またがんばろうと思えました。ありがとうございました。
- 不登校児童や小学校での暴力事案が増えていること、特別支援学級に在籍する児童の増加など、現在の状況を知り、本校でも「ぎふいのちの教育」に向けて取り組んでいく必要性を実感しました。不祥事根絶に向けては、新聞等で出た時に話題にしたり、終礼等でミニ研修として行ったりしています。今後も続けていかなければと思つきました。香田義務教育総括監のように私も自分に決めごとをつくり、「教頭先生、ありがとうございます」と言ってもらえるよう、取り組んでいきたいと思つています。ありがとうございました。
- 不登校児童生徒の推移、特別支援学級の推移、教員不足、不祥事根絶、働き方改革などなど、どの内容も喫緊の課題であり、そんな中ががんばってみえる先生方をどうサポートしていったらいいかが、自分自身の課題でもあると強く感じました。7RULESはとても参考になりました。ありがとうございました。
- 不登校児童生徒への対応や命の尊厳についての教育、GIGAスクール構想の推進など、今取り組まなけ

ればならない教育課題について、考えを深めるきっかけとなりました。また、後半の頑張れ、教頭先生!では、7ruleを示していただきながら、やるとよいことのヒントをいただきました。教頭の役割である「校長を助け…」とありますが、私はまだまだ逆に校長先生に助けられてばかりです。校長先生が願う学校を具現するために、あらゆる方面から職員を支え、校長先生から「ありがとう、教頭先生」と言っていたらよいように今日からまた教頭業務に取り組んでいこうと思います。本日はありがとうございました。

- 不登校児童生徒や特別支援学級に在籍する児童生徒は年々増え、普通学級においても特別な配慮を必要とする生徒が増加している。一人一人のニーズが多様化し先生方も本当に指導が困難になっていることを実感している。グラフそれが本校だけでなく全体的にそうだということがよくわかった。教頭の仕事も多岐にわたっているが、迷ったら面倒な方を選ぶという先生のルールは印象的であった。生徒や保護者だけでなく、本校職員からも頼りにされるような人柄及び教頭スキルを身に付けなくてはと改めて思った。
- 不登校生徒や特別支援学級に在籍する生徒の増加については、今後もしばらくは続くように思う。個別の支援が必要な生徒が多い一方で教員が足りないという状況では、働き方を改革することは難しいのではないかと感じる。より専門的な知識を持つ人から研修を受けて対応を教えてもらうことはできても、実際に対応する現場の学級担任などは研修を受けた上に対応する時間も必要になる。業務量は職場の中でできるだけ平等になるようにし、担任以外の職員が個別の対応に関わる体制は作っているが、これで十分なのか不安である。
- 分かりやすくまとめられており、納得しながら聞くことができました
- 変化の激しい時代を、力強く生き抜いていくための生徒の育成に向け、あらためて、きめ細かな教育指導体制の構築と、教職員の質の向上の必要性を感じました。今後も働きやすい職場の構築はもちろん、様々な実践を積み重ねていくことで、生徒に確かな力を身に付けさせていきます。ありがとうございました。
- 変化の激しい時代を生きる子どもたちがよりよく生きる力を培うことができるようにするには、教員自身も変化の激しい社会・教育現場で「自分を見失うことなく、成長し続ける」必要があると考えます。危機管理、人材育成、教科などの指導、信頼関係づくりなど、教頭の果たすべき役割はたくさんありますが、自分の中で7 RULESを決めて、前向きに取り組んでいきたいと思えます。ありがとうございました。
- 勉強になりました
- 忙しいことを言い訳にしていたのではないかと自分自身の姿を振り返る機会になりました。もう一度教頭として何をすべきかを考えたいと思えます。まず初めに7ルールにあるように、子供たちの姿を見たり、先生だけでなく職員全ての頑張りを見つけたりできるように足を運び、コミュニケーションを大切にしたいと思います。
- 忙しい毎日で、つい目の前の仕事をこなすだけで精一杯になりがちな自分でしたが、教頭の役割を再確認して、教育の課題、学校の課題に取り組んできたいと思えます。ありがとうございました。
- 忙しい毎日を送っていますが、それはどの教頭先生も同じであり、共感もてました。7つの決め事のように、

自分なりにこのことは大切にして取り組もうとすることを明らかにし、日々実践していこうと思いました。貴重なお話ありがとうございました。

- 忙しい中でも、子どもたちのため、学校のため、職員のためにこれからも頑張ろうと思いました。
- 忙しく慌ただしい毎日の中で、教頭としてのやりがいや楽しさなど考える余裕もありませんでした。香田先生のご講話を拝聴したことで、仕事に追われるだけの日々を少し立ち止まることができました。これからも、できることを精一杯の気持ちで職務にあたり、ありがとうと言われる回数を増やしながら、私自身も感謝の思いをもてる。そんな日々となるよう努めてまいります。ありがとうございました。
- 忙しさに追われる毎日ですが、視野を広く持ち職員の支えとなるよう努力したいと感じました
- 忙しさに追われる毎日の中ですが、香田先生の7ルールのように、ぶれない自分づくりのための指標を創っていきたいと思うことができました。温かいメッセージに励まされました。ありがとうございました。
- 本県の状況や対策について、端的に教えていただき、大変勉強になりました。また、教頭へのメッセージでは、共感できることが多く、また「培う」についての考え方は子供だけでなく、職員にも同様な考え方で接していきたいと強く感じました。
- 本校においても、講演で述べられていた課題は全て該当するものであったため、県内の多くの学校も同様の課題を抱えていることがわかった。多くの課題を抱える中ではあるが、児童、そして職員に力をつけていくための支えとならなくてははいけないと感じた。そのために大切にしたいルールを自分なりに改めて整理し実行していきたい。
- 本校においても不登校問題、特別支援教育や外国人への対応等、業務が複雑化しているうえに、ICT教育の推進、コロナや熱中症への対応、働き方改革の推進等目の前に課題が山積みになっている。しかし、先生方と一緒に少しずつ進めているところであり、いつも職員で共通理解・共通行動で無理のない範囲で取り組んでいる。香田先生から7ルールのお話を聞いたが、自分は常に職員や子ども、保護者の役に立つことを第一に心がけている。なかなか、うまくいかないことが多いが、自分のできることで学校内の役にたてるようにしていきたい。
- 本校は、単学級160人の小規模校ですが、不登校や暴力行為、外国人児童の支援、特別支援等、多くの課題を抱えています。教頭として、積極的にかかわる中で、学校としてどう支援していくことができるかを考え、一人一人の子供によりよく返していけるようにしたいと考えました。本日はありがとうございました。
- 本校は各学年1クラスしかいないため、フリーで動くことができる職員がほとんどいません。児童同士の間関係や個の学習姿勢、授業への補助も、教頭が多く入ります。一人一人、個に応じた向き合い方が必要です。それでも、丁寧に人間関係を築いていくこと、担任への助言等を行っていきながら、今後も対応していくことが重要だと、香田総括監様のお話を聞いて、改めて実感できました。ありがとうございました。
- 本校も、1人担任が不足しているため、その分を、みんなでも補い合って何とか毎日やっているところです。大変忙しい中ですが、子供たちや職員のためにできることを

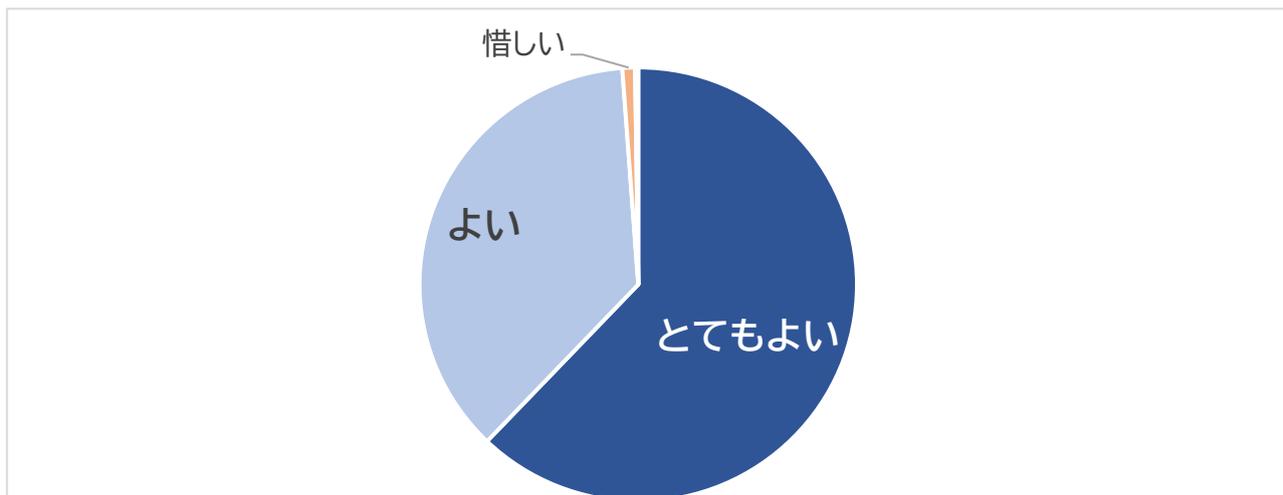
と思い毎日すごしています。ご講演、ありがとうございました。

- 本当に多くの課題を抱えている教育界ですが、香田静夫先生が私たち教頭を応援してくださる思いが伝わってきたことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。特に、香田先生が教頭時代に自分に課せられていた7つのルールは心に残りました。先生方のよいところを子どもや保護者にたくさん伝えていきたいと思いました。毎日目の前の仕事に忙殺されそうですが、今日学んだことを少しでも活かせるように努めて参りたいと思います。ありがとうございました。
- 本当に多忙な中での勤務ですが、私の「自ら頑張らねば」という気持ちをさらに高めるありがたいお話を頂きありがとうございました。
- 本当に大変な毎日ですが、「がんばろう」と思えました。子供たちの力を信じ、伸ばすことと同時に、先生方の力も伸ばしていくことができると思います。今、自分のことにいっぱいですが、たくさん教室にも足を運びたいと思います。
- 本当に毎日、次から次へと課題が降り注いでいきます。しかし、現在、本校に3人の教育実習生が来ています。彼らは、夢と希望を持って、この3週間、生徒と触れ合い、教材研究に励んで取り組むことが出来ました。彼ら実習生が教育現場に実際に立ち、生き生きと活躍できる現場づくりに全力を注ぎたいです。
- 毎日、児童や先生方が元気で過ごせることが最大の目標ですが、自分なりのルールを決めてその効果が少しでも先生方のやる気につながればよいと心から思いました。元気をいただくお話でした。ありがとうございました。
- 毎日、自分の動きや言葉はこれでよかったのか？と迷う事ばかりですが、先生の具体的なメッセージから元気をもらった気がします。「子ども達の成長」「保護者の安心」「職員のやる気」のために自分ができることを誠実にやっっていこうと思えました。ありがとうございました。
- 毎日変わり続ける社会の動きの中で、生徒の幸せを願い、日々取り組んでいます。今回のメッセージから、教頭という職務の責任感と難しさを再確認するとともに、まだ自分にもできることがたくさんあることがわかりました。生徒も教員も保護者も楽しいと感じられる学校生活を創り出すために、今後も尽力していきます。貴重なお話を聴かせていただき、ありがとうございました。
- 命の教育、ふるさと教育を大切にしていきたいと思いました。また、コンプライアンス意識を高めるための投げかけ、人材育成は教頭の重要な役目だと再認識することができました。香田先生に教えていただいた7つのルールを意識しながら子ども自身が持っている力を引き出しのばす学校づくりをおこなっていききたいと思いました。
- 明日からも頑張ろうと思うことができました。ありがとうございました。アドバイスもいただき、明日からも頑張ろうと思うことができました。ありがとうございました。
- 迷ったときは、面倒なほうを選択する、という言葉が心に残りました。ともすると、あまりの業務の多さに楽なほ

うに傾きがちですが、そのために後で悔やむことも多いです。香田先生の言葉を心に留め、忙しい中でも元気に勤められるように心がけたいと思いました。ありがとうございました。

- 優しく、丈夫で、誰からも頼りにされる教頭かどうか自分を見つめ直したとき、まだまだほど遠いと感じる。教頭になったときから、風通しのよい職員室することを心に決め、職員と会話をするを大切にしてきたが、「指導」という面では甘さを感じる部分もある。職員に寄り添いながらも、指導するべきところはきちんと指導できるようにならなければならないと感じた。本校にも、不登校、いじめ、虐待などさまざまな課題があるが、校長の指示を仰ぎながら組織で対応していきたい。応援していただき、ありがとうございました。
- 揖斐郡に戻ることができたので、義務教育総括監が言われるように、小島小のことは何でも知っている教頭になろうと思っています。また、「迷ったら面倒なほうを選ぶ」という言葉には経験に裏打ちされた重みがありました。認められるとうれしいので、私も先生方のよい所をどんどん認めて言葉にしていきます。ありがとうございました。
- 様々な課題のある中、担任の先生を始め職員の皆さんが安心して仕事に打ち込んでほしいの一心で毎日教頭の仕事を勤めています。まだまだ力不足ではありますが、幸田先生のお話をお聞きして、子どもたち、職員のためにできることを頑張ろうと勇気づけられました。ありがとうございました。
- 様々な業務が山積みで、その仕事に追われる日々ですが、本校職員の力を最大限発揮できるよう調整を図ったり地域の方の力を取り入れたり、学校を活性化させることのできる立場であることを再認識しました。
- 様々な困難がある中で、こうして子どもたちと毎日過ごし、どうすれば力を付けられるか真剣に考えて勤められる幸せを改めて感じました。香田先生からのエールを胸に頑張れそうです。
- 様々な困難がある毎日ですが、職員一眼となって取り組みたいという気持ちを新たにいたしました。
- 様々な事案をこなして「ありがとう」といわれる事は多いが、やはりそこに存在することで職員に「安心感」を与える事の大切さを感じました。
- 様々な対応が求められる学校現場において、子ども達や先生方が、心身共に元気で生き生きと生活できるように、自分の持ち味を精一杯発揮して学校経営に取り組んでいきたいと思います。
- 様々な方面に関わる業務があり、どのようなことにも柔軟に対応する力が必要であると感じています。お話を視聴し、教えていただいた7RULESを意識して毎日を過ごしてみようと思いました。そして、教師として、1人の人間として、信頼される自分自身になれるよう、自分を磨いていきたいです。同時に、児童生徒や保護者、地域の方々に、自校の教職員すべてが信頼されるよう、よさを伝えていきたいとも思いました。貴重なお話をありがとうございました。

2. オンデマンド開催した研修総会は、如何でしたか。



とてもよい理由

- 出張が多く、かつ担当授業時数(現在、週に16コマ授業を担当しています。)が多いため、集合研修ではないほうが負担が少なくなるからです。また、時間を指定されない方が、授業を自習にしないで済むため、動画視聴研修を望みます。
- 業務を考慮しながら、自分のタイミングで視聴することができるため。
 - 遠方のため、会場への出張が負担になるため。
- 各自の時間に合わせて視聴できる 2、見直すことができる 3、見たいところ(資料を読む)でストップできる からです。
- 17日には見られなかったが、自分のゆとりのある時間に見ることができて、受け止める気持ちができるため。
- 往復の移動時間が不要であるから
 - ②勤務の状況に応じて視聴時間を取れるから
- 集中できる時間に講話を拝聴できること
 - ②さらに大事なと感じた内容をもう一度聴くことができること
- 新型コロナウイルス感染症防止の観点から安全であるから。②遠方に向くことがないため、学校を空けることなく、時間を効率よく活用することができるから。③You Tube 動画の編集が大変丁寧であり、テロップや左肩に資料が映し出されることは、より視聴しやすいから。
- 7ルール, 共感しました。
- いちいち参集しなくても、自分で視聴する時間をプランニングできたり、聞き逃したことや見逃したことを戻って確認できたりしたこと。
- いつでも、どこでも視聴することができるため。
- いつでも見ることが可能だから
- いつでも参加できること
- いつでも視聴できる。
- いつでも時間の許すところで、自由に拝聴できることがよいです。
- オンデマンドであれば、学校対応を気にしながらではなく、都合の良いタイミングで視聴できるため。
- オンデマンドで参加できると時間が融通できるため。
- コロナ禍であることも含め、参集しないこと、出張時の時間を削減でき学校を離れなくても済むこと
- コロナ禍で集まるのが難しいけれども、大切な話を聞き、今後の業務に活かせるから。
- コロナ感染症が起きた場合は教頭が窓口です。学校現場を離れる機会が減ったことはありがたいです。
- コロナ対応としてよい。また学校をあげなくて済むのもよい。
- コロナ対応等でなかなか学校が空けられない状況だったため。
- どうしてもその日時では参加できない事情があっても、オンデマンドならばお話を聞くことができるから。
- どうしても行事と重なる時、自分で時間を決め視聴できたこと。
- とてもよいと感じた理由は忙しい毎日の中、自分で時間を合わせてお話を聞くことができたことです。また、もう一度聞きたい言葉を戻って聞くことができたことです。
- とても参考になりました。
- なかなか学校を抜けられない状況で、現場を離れることなく研修できるから。
- へき地勤務は出張時には時間がかかります。少しでも子供や職員に向き合える時間が確保されるのがありがたいです。
- やはり、学校を空けなくて済むことが何よりです。また、自分の都合の良い時間にじっくりと視聴できることもとてもありがたいです。
- わざわざ集まって行う必要がないことなら、このような形が望ましいから。
- 移動にかかる時間の削減 都合のよい時間で視聴可能であること
- 移動に係る時間を要しないから。
- 移動に時間がかからないし、動画視聴などはスケジュールに合わせて視聴できるため。
- 移動の時間がかからないから。
- 移動の時間がかからないことと、授業等の入っていない時間帯に視聴することができるため。
- 移動の時間が省け、その分、学校での業務や児童への対応ができるから。
- 移動や待ち時間がないので、ありがたい。
- 移動時間がないため、様々な対応ができるからです。
- 移動時間がなかったことや、義務教育総括監の講話を画面と印刷資料でお聞きできたことは、たいへんわかりやすかったです。
- 移動時間がなく、自分の都合に合わせて参加できる。
- 移動時間がなく時間を有効に活用することができたから。
- 移動時間の短縮と効率的な運営。
- 移動時間や内容を考慮すると、オンデマンドでも十分と感じるから。

- ・移動時間を取られず、コンパクトに研修を受けることができたからです。
- ・一日の中で、都合のよい時間を選んで落ち着いて研修できるから
- ・往復の時間などの節約。
- ・音声ははっきりしている。また、聴き逃しても、繰り返し聴ける。集まらなくてよく、感染の心配をしなくてよい。
- ・何度も視聴し、確認することができた点。
- ・会場に行き帰りする時間を省くことができるから。
- ・会場までの移動時間が無くなり、時間が有効に使える。
- ・会場まで移動する必要がなく、学校を空けなくても参加できることがありがたい。また、学校業務に支障のない時間帯に視聴でき、なおかつ何度か視聴できる点が良い。
- ・学びの多い講話を何度でも視聴できる。
- ・学校で、かつ時間の空いているときに受けることができて大変助かりました。
- ・学校での業務に専念する時間が確保できるからです。
- ・学校では日々、様々な出来事が起こっている。それに対応することが多いのが各学校の教頭であると思うと、自分の都合のよい時間に視聴できるオンデマンド型はとてありがたい。
- ・学校にいながら、受けたい時間に受けることができるから。
- ・学校にいる時間が確保できるから。
- ・学校の授業や行事に差し支えなく、自分の研修時間を決めて行うことができるため。
- ・学校の状況に合わせて視聴することができたこと、何度も繰り返し視聴できることがよいと思いました。
- ・学校の状況及び自分の業務、研修の見通しをもって臨めたことと、事前に資料等を確認しながら参加できたため。
- ・学校をあけなくても研修できるし、余裕のあるときに受けることができるから
- ・学校を空けなくてもよいし、自分の都合で研修に参加できるから。
- ・学校を空けなくてもよいのでありがたいです。自分の働き方に合わせ、余裕をもって安心して研修が受けられるから。
- ・学校を空けることがない。研修を落ち着いて視聴できる
- ・学校を空けることが本当に難しいです。今年は新任教頭です。研修も多いため、校内で総会に参加できることや、自分の視聴できる時間に視聴できる、というシステムが非常にありがたかったです。
- ・学校を空けることなく研修を受けることができるため。
- ・学校を離れなくてよい
- ・学校を離れなくて良いから
- ・学校を離れることがなくなるから。
- ・学校を離れることが難しい役職である。
- ・学校生活の中で、時間を有効に使えるから
- ・岐阜まで出ると、時間的にも拘束されますし、視聴する時間も柔軟に対応できたので、とてもよかったです。
- ・気楽に参加できるから
- ・教頭が、勤務時間に学校を離れずとも研修することが出来、学校で指導や補助に入ることが可能となるため。
- ・教頭して今何が大切かを落ち着いて聞くことができたからです。
- ・教頭としての研修がオンラインでも受けられることに感謝です。現在の学校は、教頭がなかなか学校を離れることが難しいのが現状です。
- ・教頭として全ての業務における要とならなければならず、自分のなすべきことに誇りがもてました。
- ・教頭職は、多岐にわたる仕事があるため、この形ですと場と時間を選ぶことなく、また、実際に香田先生の講演による研修ができるため。
- ・業務が多忙で時間を工夫して受けられたから。
- ・業務が多忙で集まるのは厳しい。
- ・業務に影響なく研修が受講できるのがありがたいです。
- ・業務の隙間時間に視聴できたから。
- ・業務の都合に合わせて視聴することができたため。移動時間がないのもありがたい。
- ・空いた時間にさっと対応できるため。
- ・空いた時間に視聴することができた。
- ・空いている時間に研修ができた。
- ・隙間の時間に視聴できる
- ・欠員になっており、校内での研修も難しい日があります。オンデマンドは、自宅ですっきりと研修することができ、心にもゆとりをもって研修できるからです。
- ・研修の時間を自身で調整することができる。また、移動時間を省くことができるため、業務に支障がない。今日は、1年生の校外研修、県教委の本監査、中体連理事会が重なったため、オンデマンド開催であったことに救われた。
- ・研修を受ける時間を自分で決められるため。
- ・研修日や時刻をフレキシブルに調整できる。動画は期間内に何回でも視聴できる。(=勉強できる)
- ・県の現状を知った上で、本校の問題を考えるきっかけとなったから。
- ・県下から教頭職が参集することリスク回避
- ・現在、学校は出張等があればあるほど、ますます人が足りない状況である。そのため、校内で時間を見つけて研修できるのは学校としてもありがたいと思う。
- ・現在の教育の課題や動向をわかりやすく学べた。
- ・現在の教育の様子を端的にきくことができました。
- ・現在の教育課題が非常に端的にまとめられていて分かりやすかったこと、教頭として意識するとよいことの具体例があり実践してみたいと思える内容であったこと
- ・現場のニーズに応じた時間に参加することができ、安心して視聴できました。
- ・後で視聴することができ、落ち着いた気持ちで視聴することができた。
- ・公務の合間を縫って資料を読んだり、講話を聞いたりできるため
- ・校内で緊急の事案が起きた場合などに、そちらに対応することができる。対面で検討をしなくてはならない場合は参集型を取ることも必要だと思う。
- ・校内の状況に応じて、参加できる時間を選択することができるからです。
- ・校内を空けることなく研修ができるため
- ・校内状況から考えると参集型よりも時間にゆとりが持て、有り難く思います。
- ・校務に充てる時間ができ、また、自分のタイミングで、視聴できるため
- ・校務の空いた時間に研修ができる
- ・校務や校外学習、校長引率で管理職不在など、そんな時期なので、オンデマンドは大変ありがたいです。
- ・校務や生徒指導等の対応で定時に参加できなくても、自由裁量の余地が大きいので、きちんと時間を確保し研修できるから。
- ・行事が入っていても、後から視聴することができるからです。
- ・講演がとても聞きやすく、プレゼンの画像資料も拡大され見やすかった。事前にサイトから資料をダウンロードすることで、印刷製本の手間も省けて効率的に開催できる。総会会場での運営や出張移動もなくなる。オンデマンド開催(YouTube)で、講演配信期間に幅があり、17日当日の学校行事に参加でき、大変有難かったです。
- ・講演の内容がとても整理されており、わかりやすかった。また、取り組みに対する教頭としての心構えや考えをお聞きすることができ、とても参考になった。
- ・講演の内容を何度も聞き直すことができるから

- ・講話の途中で一時停止するなど、心に残った言葉をメモすることができるため。何度も聴くことができるため。
- ・香田義務教育総括鑑様の講話がとてよかったです。教頭業務は学校を開けることがなかなか難しいです。出張ではなく自校で研修を受けることができることはとてもうれしいです。
- ・香田先生の話が、とても学びになった。
- ・今の学校状況を考えると、行き帰りの時間がない今回のような開催がよい。
- ・今日から何を頑張ればよいのかが明確になる研修内容
- ・今年度でいえば、研修総会の日と、私の勤務する市の市教研の日が同日であったためです。市教研にも参加することができ、オンデマンドで研修総会の講話も視聴することができました。
- ・今年度は、修学旅行と日にちが重なってしまっていたため、翌日18日に見せていただきました。こうした行事の他にも出張や年休の担任のフォローやケース会、保護者対応等をしていると、動画を観る時間に融通が利く今回の方法はとてもありがたいからです。
- ・参集しないとできないことがあれば別ですが、時間のことを考えると効率的でよいと思います。
- ・参集も良いですが、時間を見つけてできるので良いです。
- ・参集式は参集式で、空いた時間に他の教頭先生方と交流したり、生で話を聞けるよさがあります。しかし、オンデマンドは、日々の勤務をしながら、時間を見つけて研修することができ、現状、研修がしやすいと感じています。特に、香田義務教育総括監のお話は3回ほど視聴させていただきました。参集式だと、聞き漏らすことも出てくると思いますので、このやり方でありがたかったです。
- ・嗣のよい時間に視聴することができる。
- ・視聴するタイミングを自分で決められるから。
- ・視聴可能な時間に視聴できる。
- ・視聴可能な時間を自分で決めて研修ができるので、時間調整ができる。
- ・視聴時間を業務の状況に合わせて選択できる。
- ・児童が学校にいる時間帯に研修に参加することは、他の職員にも負担をかけてしまう。オンデマンドだと放課後の時間等を活用して研修できる。
- ・時間があるときに、ゆっくり落ち着いて参加することができるため。
- ・時間があるときに視聴できる
- ・時間に拘束されず、研修することができるのでとてもよい。
- ・時間に拘束されず、自部自身の仕事のペースに合わせて研修を受けることができた。そのため、じっくり話を聴くことができた。
- ・時間に制約がなく視聴することができた。
- ・時間に縛られずいつでも視聴できる。聞き逃したり、もう一度聞きたかったりしたことも巻き戻して聞くことができる。
- ・時間に余裕があるときに参加できる。遠くまでいなくてもよい。
- ・時間のある時や休みの日でも研修ができるので。
- ・時間の効率化を図ることができる
- ・時間の制約、移動時間の負担もないため、大変ありがたかったです。また、補充を組む必要もほとんどなく、他の職員への負担も最小限であったため。講話についても非常にわかりやすく、プレゼン資料等見やすくよかったです。
- ・時間の節約になる。＝多忙化解消につながる。
- ・時間の都合をつけやすいため。
- ・時間の融通がきくため。
- ・時間の融通性がある
- ・時間を気にしないで視聴できることは大変ありがたい。
- ・時間を気にせず、自分に合った時間で余裕をもって研修に参加できるからです。
- ・時間を気にせず、取り組めた。
- ・時間を見つけて視聴できる。
- ・時間を自分で生み出して研修ができる。
- ・時間を制限されずに、研修することができるため。
- ・時間を選ばず参加できました。
- ・時間を有効に使える。何度も見直すことができる。
- ・時間帯に関係なく、参加できるから。
- ・時間的には短いものでしたが、内容が大変充実していたため。
- ・時間的にも余裕があり、お話をじっくり聞けました。
- ・自らの業務を見ながら対応できたから。
- ・自己の都合に合わせて視聴できる。職場を離れる必要がない。
- ・自校で、時間を調整しながら研修ができることがありがたかったです。
- ・自校で研修できるため、時間に余裕ができる。密にならない。
- ・自校にて業務をこなしながら、時間を見つけて研修を受けられるため
- ・自身の業務に合わせて、都合の良いときに視聴できたから。
- ・自分が、視聴可能な時間での研修が行えるため。
- ・自分が視聴できる時間にゆっくりと視聴することができること。
- ・自分で研修の時間をコントロールできるため。
- ・自分で研修時間を選択できる。興味を持ったところを繰り返し見直すことができる。
- ・自分にゆとりのある時間帯に拝聴することができること
- ・何回も繰り返し拝聴することができるため。
- ・自分のタイミングで、何度でも研修を受けることができる。
- ・自分のタイミングで研修させてもらえることや、もう一度聴きたい(見たい)部分について繰り返し聴けることがよいと思いました。
- ・自分のタイミングで参加できるから。
- ・自分のゆとりのある時に、参加することができる。
- ・自分のよい時間に、じっくりと研修することができるから。
- ・自分の空いた時間で参加できるため
- ・自分の空いた時間に視聴でき、その他の公務にも影響がなかったから。
- ・自分の好きな時間に研修ができるから。
- ・自分の仕事の計画と体調に合わせてじっくりと視聴できるから、
- ・自分の都合がつく時間に研修できるから。
- ・自分の都合に合わせて研究大会に参加できるため。書面開催よりも理解しやすい。
- ・自分の都合のよい時間にできることがよい。参集型も、実際に他の教頭先生方と直にお話しできるので、よさはあると思います。
- ・自分の都合の良い時間に視聴でき、急な生徒指導等にも対応できるから。
- ・自分の働き方に合わせた研修の受け方ができました。
- ・自分の予定に合わせて研修できるから
- ・自由な時間に視聴を通して研修できる
- ・自由な時間に拝聴でき、時間に縛られることがないから。
- ・自由度が高いのはとてもありがたいです。研修の時間、場所に縛られなかったり、講話も聞き返すことができたりしたことは、私にとっては大変勉強になる機会でした。参集型も他の教頭先生と顔を合わせたり、話を聞いたりするという付加価値もあるので全く否定するものでもありません。

- ・授業の補欠を依頼することがなく、自分の空いている時間で視聴することができ、大変ありがたかった。
- ・授業数も多く、生徒指導事案も多く、事務作業も多い中です。なるべく子どもの側にいられることを考えると、オンデマンドは欠かせないと思っています。
- ・集まるのが難しい今、各自が都合のつく時間に参加することができたのと、自分を振り返る機会となったお話を聴くことができたから。
- ・集合の必要がないし、都合のよいときに研修ができる。
- ・集合型は、現地まで行くのに時間がかかるため、効率的ではない。オンデマンド開催は、往復の時間がいらないので、効率的に学ぶことができる。時間も選ぶことができ、多忙化の解消につながる。
- ・従来のように参集できないことを情緒的に物足りなく感じるが、業務のスリム化のために割り切るべきところではないかと思う。
- ・出かけることなく、学校の状況を掴みながら、研修を受けられた。途中で何か入ってもそこから後で研修を受けることができたことがよい。
- ・出向くことがないため、効率的である。また、自分に時間的な余裕のあるタイミングで講演を視聴させていただくことができ、気持ちにもゆとりができた。
- ・出張などで学校を空けることが多く、教室支援の時間確保のため。
- ・出張に関わる移動時間等を節約できる。
- ・出張に出るリスクが半減される。
- ・小規模校で、教員の欠員もあり、なかなか校外での研修に参加することが難しい状況であり、自校で、視聴時間の制約もなく視聴できるのは大変ありがたいです。
- ・小規模校では、出張が重なってしまうと、補欠には入れなくなってしまう。都合のよい時間で視聴できるので大変助かりました。
- ・場所と時間を選ばず、参加できるところ。
- ・場所や時間の制約がないことと繰り返し視聴できる
- ・職員が少なく、補充等で多忙な中でも学校を離れることなく参加できました。
- ・職場を離れず、校務の都合に合わせて参集できたため。
- ・職場を離れずに研修を受けることができるため。
- ・心に響く言葉、意欲が出てくる言葉をたくさん伺うことができたから。
- ・新任教頭が必須とされる研修や市主催のセミナーを含めると、学校の通常業務を空けることが多く、こうしたオンデマンドで受けさせていただけることは、休日を利用することにはなりますが、大変ありがたいです。
- ・正直、日常的に人手が足りず、教頭、教務が補充に入ることが多い。今回は、校オンデマンドとなったことで、4年生の校外学習の引率に行くことができ、学校として助かった。
- ・生徒指導、保護者対応で学校を離れられない毎日です。自宅でも研修できるこの形は大変ありがたいです。また時間も短くとてもよかったです。
- ・静かな場所で落ち着いて受講できた。繰り返し視聴できる。
- ・他の教頭先生方とお会いしたり、直接お話を伺うことのメリットもありますが、学校を離れず、時間を有効に活用することのできるオンデマンド開催のほうがメリットが大きいと感じました。
- ・多忙な業務の中、職場を離れずに研修できる。
- ・多忙の中、飛騨から岐阜や羽島への出張は、これまでもやはり大変でした。1日ばかりでしたので。
- ・多様な中、出かける必要がないから。
- ・大切であろうと思ったことを繰り返し聞き、研修を深めることができるため。
- ・大切なところを繰り返して見ることができる。
- ・短い時間で、しかもWEBで教育界の現状を知ることができたし、「頑張ろう」と思える温かいメッセージをいただけました。しかし、参集して研修を受けたい気持ちもあります。
- ・短時間で、効率的です。
- ・短時間で移動などの時間が省略されてよかったと思います。大切なことは、しっかり理解できたと思います。
- ・短時間で移動もなく効率的でよい
- ・昼間は様々な業務(児童への指導、保護者対応など)があるため、自分の時間に合わせて視聴することが出来たことが大変ありがたかった。
- ・直接、お話を伺いたい気持ちもありましたが、一方で時間があるときに、ゆっくり動画を視聴できてよかったと思います。
- ・都合のよい時間で研修できるため、授業をずらしたり、なくしたりしなくてもすみました。ありがとうございます。
- ・都合のよい時間に研修できるから
- ・都合のよい時間に視聴することができるから。
- ・都合の良いタイミングで参加することができたから。
- ・都合の良い時に参加することができ、学校として業務に差し障りなく、個人として負担がない。
- ・都合の良い時間に、移動することなく参加できるため。
- ・都合の良い時間に研修できるから。
- ・都合の良い時間に視聴することができるため。
- ・都合の良い時間に視聴出来たこと、繰り返し視聴出来たことも良かったです。何より、移動時間の節約になりました。
- ・当日の受講が難しい場合、日をずらして受講可能だからです。
- ・当日は、急な生徒指導があり、オンデマンドでなければ今回のような貴重な講演をお聞きすることができませんでした。
- ・当日は地域行事が重なったため参加できませんでした。今回のやり方なら後日参加が可能なので、とてもありがたかったです。
- ・働き方改革につながるから。
- ・内容がコンパクトにまとめられいながらも、今後の方向が分かりやすく示されていたから
- ・内容が具体的であり、分かりやすかった。
- ・内容が端的にまとまっており、時間もちょうどよい。参集の場合の移動時間が必要ない。研修をする時間を自分で選択できる
- ・内容に大きな意味があると思ったからです。
- ・内容の精選、移動なしなど研修がスリム化されているため
- ・日常の業務について、極力支障をきたさない進め方ができるためです。
- ・飛騨からの移動時間の無駄がないので。
- ・飛騨から会場までにかかる時間を考えたら、こういった開催の仕方は本当にありがたい。今日も自分の空いた時間に視聴することができた。無理なく参加することができた。
- ・飛騨地区の教職員にとって、岐阜まで赴くのはそれなりの負担となります。オンラインでも十分研修価値のあるものにできるのであれば、そちらで行っていただきたいです。ただし、対面での研修の必要性も感じておりますので、すべてオンラインで、という考えではありません。
- ・負担が少ないこと、動画も見やすかったことからです。
- ・聞きやすい、見やすい
- ・放課後等の時間を利用し、視聴をすることができた。複数回視聴ができた。
- ・忙しい業務の中、時間を有効に使うことができるからです。

- ・本校のように小規模校でしかも、担任が不足している学校にとっては、少しでも学校を開けることは、他の職員に負担をかけることになります。また、会場までの移動時間も片道1時間以上かかり、大変無駄な時間となります。Webなら時間を有効に活用できます。
- ・本日は学校評議員会がありましたので、都合の良い時間に聞くことができたから
- ・本来は関市教育研究会と重なっていた研修でしたが、このように日にちを替えて自分の都合で研修できた点がとてもよい。
- ・毎日、児童対応のSOSが担任から出る中、欠員もあり、学校を出ることは現実的ではない。自分のペースでゆとりある中で動画を見る方が、問題と向き合え、本来の研修がしっかりと受けられる為、オンデマンドの開催は大変ありがたいです。来年度もこのスタイルを希望します。

よい理由

- ・都合の良い時間で聞く
- ・ことができたので良いが、やはり、直接人に会って話を聞くほうが心に入ってくる。
- ・コロナ禍としては、この開催方法が最善であるでしょうし、学校をあげなくてもよいことはありがたいですが、対面でこそ得られることもあるのではないかと思います。
- ・①自分の都合のよい時間帯に参加ができる。②繰り返し視聴することができる。③自分のペースに合わせて、途中で止めたり進めたりすることができる。④時間が有効に使える。等
- ・ある程度の期間であるが、時間に束縛されることなく、時間ができた時に視聴することができるから。
- ・いつでもどこでも研修できるから
- ・いつでもどこでも主体をもって臨めたから
- ・いつでも視聴できる。
- ・いろいろな業務が重なる中で、自分の都合のよい時間に視聴できる。また、研修の機会がきちんとあるということ。
- ・オンデマンドによる配信は、効率もよく何度でも聞き返せるところがよいのですが、香田先生の講話は、直接拝聴したいと思います。
- ・オンデマンドは、「出張に出かける」という時間を減らすことができるからです。ただ、同じ教頭の立場で話ができる場があるのなら、集まれるといいなあとは思いますが。
- ・オンデマンドは、聞くことのできる(割と余裕のある)時間を自ら決められることができるため、研修に入りやすいので、良いことだとは思いますが、これが毎年となると、だんだん形骸化し、いい加減な気持ちで研修を受けてしまうことにつながるのではないかと思います。そのため、「とてもよい」にはしなかった。
- ・オンデマンド開催だと移動もなく、時間的余裕があつてよかったです。
- ・お話は元気づけられよかったです。直接聞けたらもっとよかったですなと思いました。
- ・コロナ禍であることを考えると、参集に変わる方法が適切だと思います。
- ・コロナ禍で研修が難しい中で、webによる研修を設定していただけた。
- ・コロナ禍の現状でしかたないことはわかったうえで、やはり顔をみて、対面でお話を聞けたり、交流できたりするのが一番だからです。コロナ禍の現状を踏まえてでは、今回のオンデマンド開催、端的にわかりやすい経験を踏まえたお話はとても勉強になりました。
- ・コロナ禍であるため、感染拡大対策となる
- ・ご講話を聞き逃すことなくじっくりと聞くことができたからです。

- ・毎日大変忙しいので、オンデマンドは自分の都合のよい時間帯に研修できるからです。
- ・明確な内容で分かりやすかったため
- ・用務時間の中で、自ら適切な時間を設定し参加できるから
- ・要点がよくわかり、資料も充実していました。ありがとうございました。
- ・落ち着いて、研修を受講することができたため。
- ・落ち着いてじっくり聴くことができました。
- ・落ち着いて拝聴できる
- ・録画を視聴できることで、学校現場において緊急対応が必要な場合にスムーズに行動できる。また、録画視聴が途中であっても、再度視聴することができ研修総会を大切にすることができる。
- ・録画研修でありがたかった。プール開催、年休等の対応で手がたりなかったため。

- ・できるだけ学校に穴を空けないかたちで、参加できるという意味ありがたい。
- ・どうしても当日のみの配信では視聴が難しかったので。
- ・どちらもメリットデメリットがあるが、オンデマンド開催には時間的な優位性を感じたので「よい」としました。
- ・とにかく忙しい中でいつでも視聴できるのがありがたい。
- ・やはり、直接お聞きしたかったです。
- ・やはり一堂に会して、意見交換などをしながら、参加したかったです。
- ・やはり皆様とお会いして研修を受けられるとよいと思っただからです。
- ・やはり集まると良いと思います。(今は難しいと分りながら…)
- ・リアルタイムで視聴しなくても良い。反面、生の声も聞きたい。
- ・移動がない分、学校にいる時間が確保できる。再生できるので、聞き逃す部分がない。
- ・移動することなく、校内の業務の間に研修ができた。
- ・移動する時間がかからない。自分のタイミングで見ることができる。ただし、会うことで、得られることもあるので、どちらの機会もあるとよい。
- ・移動の時間が無く、たいへんありがたいです。
- ・移動時間がなくてよい。
- ・移動時間が取られず、提示資料が分かりやすくてよいと思います。
- ・移動時間の負担がなく、研修の日もじっくり生徒につくことができる。
- ・遠くまで出かけなくてよいし、繰り返し見れるから。
- ・遠方から現地に赴かなくても聞くことができるという面ではよいと思います。ただ、現地で生のお声や情熱のこもったお話をじかに聞くことができないのは残念だとは思いますが。
- ・遠方まで出かけるのは、気分転換になったり、同じ教頭職の方々や交流したりとメリットは多々あるが、一日学校を空けることで業務が蓄積することにもつながるから。
- ・何度でもきけること。
- ・何度でも話を再生できることは、自分の中で内容を再確認することができる。
- ・何度でも聞き返すことができるのでよかったです。また、提示資料も見やすかった。
- ・学校にいて研修ができるので。
- ・学校のスケジュールに合わせて受けられるところや、部屋を選べば集中できる場所がいいです。ですが、他の地区の教頭や学校と交流できないところは、非常に残念です。

- 特に新任教頭などは、物事を考える視点が広がって、何かのヒントを得られるかもしれないからです。
- ・学校をあける時間をセーブできるメリットがあると感じる。
 - ・学校を取り巻く現状が改めてよく分かりました。
 - ・学校現場を離れることなく有意義なお話が聞けたから
 - ・感染予防、時間の有効活用。
 - ・勤務先から総会会場に向かうまでの時間や自動車の運転の負担がなくなったから。参集型やオンラインでは不可能だった、市主催の研修会に参加することができ、違う時間帯で視聴したりアンケートに答えたりすることができた。
 - ・空いている時間で対応が可能になるから
 - ・繰り返し見られる。
 - ・繰り返し聞いて考え、深めることができた。
 - ・繰り返し聞く、戻って聞くことが出来たから。
 - ・研修効率がよいから
 - ・研修地に行く時間的負担が軽減される。
 - ・現在の状況において適切であると感じる。
 - ・現場から、参加できたため。
 - ・現場での人手不足に対応できるため、都合のつく時間で行えるオンデマンド開催は大変ありがたいです。
 - ・現場に行かなくてもよくいため、時間が短縮できる。
 - ・現状はまだ対面研修は難しいと感じるから。
 - ・校内の実情に合わせて時間を選択して参加できたから。
 - ・講演内容はありがたかったです。感染対策としてやむを得ない状況は重々理解していますが、普段、中々顔を合わせられない方と話ができる機会がもてなかった分だけ残念でした。
 - ・講話はとても良かったです。後は、書面審議も資料を見るだけでなく、賛成・反対の決議もこのアンケートで、答えられるとより総会としての意味が出ると思いました。(もちろん反対はいないとは思いますが)
 - ・今までならば参集型の研修となるが、十分話の内容がわかること、時間を気にせず視聴できることがよい。
 - ・今回が初の参加だったが、時間のある時に見ることができたこと。
 - ・今回のように、宿泊研修と重なっているような時であっても、自分の空いている時間に研修を受けることができるから。
 - ・参集するには距離があり時間もかかるが、学校にいなから研修ができることはメリットである。しかし、年に1回ぐらいは県内の教頭が一堂に会し、互いの顔を見ながら話ができるようになってほしいとも思う。
 - ・参集型、オンライン開催、オンデマンド開催、書面開催それぞれにメリット・デメリットはありますが、研修するにあたって、時間に縛られないという点でオンデマンド開催はよかったです。新任教頭なので、教頭になった自覚を実感し、使命感を再確認するには参集型がよいと思います。
 - ・参集型とは違い、研修時間を自由に設定できるのでよい。
 - ・参集型の開催もよいが、学校を空けることも心配なためです。
 - ・参集型の総会を知らないなので、比較ができないため。
 - ・仕事に都合で好きな時間に研修できる。
 - ・試聴時間が、自分で決められるのが良い。
 - ・時間がある時に、ゆっくり視聴できた。
 - ・時間がかからず効率よく学べました。
 - ・時間が有効に使える
 - ・時間が有効に使えるため。
 - ・時間にゆとりが持てた。
 - ・時間に自由がある。
 - ・時間に縛られず、参加できるところがよい。
 - ・時間に縛られない。開いている時間に参加できる。
 - ・時間に無駄がなくなる。

- ・時間に余裕があるときに参加できる。ただ、やはり直接会ってお話を聞くことで感じ方も変わる。
- ・時間のあるときに、ゆっくりと講話を聞くことができ、勉強になりました。
- ・時間の指定がないことはとてもよいと感じました。コロナ対策としても有効です。ただ、他の地区の教頭先生方と会うことも刺激にはなるかなとも思いました。
- ・時間の自由が利き、短時間で終わることができたため。
- ・時間の制約がない。
- ・時間の制約がないため。
- ・時間の制約はないですが、直接お話を伺いたいです。
- ・時間の都合をつけやすい。
- ・時間の融通がきくのがありがたいです。7
- ・時間は効率的でよい。実際、集うことで有益な情報交換の場となる。
- ・時間を見つけて、効率的に参加することができる。
- ・時間を固定しないことが逆に確実に参加できると同時に何度も視聴できることがありがたいからです。
- ・時間短縮できるし、学校にいたので、緊急性の高い事案にもすぐに対応できるため。
- ・時間的な拘束が少ない点がよいと思います。
- ・時間的な制約がないことは、大変助かりました。
- ・時間的な余裕があった
- ・時間的に余裕がある
- ・自校で、時間があるときに研修に参加することが出来たから。
- ・自分で時間を決め、研修できる。
- ・自分で選んだ時間に視聴することができたから。
- ・自分のよい時間に実施できるから。参集型の経験が無く、集まることのよさはあると思うが、実感が無いから。
- ・自分のリズムで研修に参加できました。また、見直しもできよかったです。
- ・自分の学校のことしかわかっていなかったが、視野を広げる事ができたとし、時間を見つけて視聴できたから。
- ・自分の空いている時間に視聴をすることができます。
- ・自分の好きな時間に聴けること、雑音がないため、集中して聴けること
- ・自分の時間で視聴することができるため、突発的な事故等に対応することができる。
- ・自分の時間に合わせて研修することができました。
- ・自分の時間に視聴できたから
- ・自分の都合に合わせて視聴することができた。
- ・自分の都合に合わせて受講でき、落ち着いて参加できるため。
- ・自分の都合の良い時に見ることができると。^^
- ・自分の都合の良い時間に研修が受けられるから。
- ・自分の都合の良い時間に視聴することができてよかったです。
- ・自分の余裕のある時間に研修ができるから
- ・実際にお話を聞くことができた方がさらによいと思ったからです。
- ・実際に行くことはできませんでしたが、こういった形で様子が分かったことがよかったです。
- ・実際に対面で講話を聞きたい気もします。
- ・授業などやらなければならないことが多い中、時間的に自分の空いている時間を活用できたから。
- ・集まる時間や労力を省略することができるため。また、自分の都合で時間を調整できるため。
- ・集中して聞くことができた。もう一度聞きたい時に、戻って聞き直すことができた。
- ・重点を明確にした資料と動画で学べたから。ただ対面であれば、同じ教頭職の先生方と交流や意見・情報交換ができたと思うので。
- ・出張にかかる時間がなく、自由な時間で研修できるため

- ・出張の時間がなくなり、校務の状況に合わせて研修することができるため。
- ・新任教頭でバタバタしている中、自分の都合の良い時間に視聴できたから
- ・総じてよいと思いますが、みんなで集まるというのも体験してみたいという思いもあります。
- ・他の市町の方と、交流する機会もあると良いのではないかと思います。
- ・他の職務も同日に行える。
- ・多忙な毎日のため、時間が効率的に使えるから
- ・対面の方が内容は伝わりやすいと思います。しかし、オンラインが整備されたわけですから、今後もオンラインでよいのかと思います。移動の手間もなくせると思います。
- ・対面の本質的効果には、勝ることはできないと感じたため。
- ・大切な部分を、複数回視聴させていただくことができました。
- ・短い時間で、課題と対策をわかりやすく説明してくださったから。
- ・短時間の視聴で、焦点化された講話でよかった。
- ・都合のよい時間に研修することができるため。
- ・都合の良い時間に拝聴できることと、大切なことが繰り返したり止めたりして(メモをとる)研修することができました。
- ・当日、来客対応が急に入ったのでありがたかったです。
- ・当日は学校の都合上参加できなかったため、この形式はありがたかったです。
- ・また、繰り返し聴くことができたこともよかったです。
- ・働き方改革。大切なことは何かを見直し、選択すること。
- ・内容はとても良かったが、私はまだ一度も参集型を経験していないので、そちらも実施を希望しているため。
- ・日々業務に終われているため、オンデマンドというのありがたいです。
- ・必要な部分を聞き直すことができた。
- ・普段の忙しい業務の中で、学校を離れて出張に出なくても良いのは、時間的にとても助かるから。
- ・忙しい中での時間短縮になった。
- ・本部役員会の時にも言いましたが、ぎりぎりいっぱい時間のやりくりで研修ができるからです。
- ・本来は参集型が望ましいため
研修内容についてはオンデマンド開催でも学ぶことが多いため
- ・落ちついて参加できる時間に参加させていただくことができるため
- ・落ち着いて講話の内容を聞くことができる。
- ・旅費がかからない
- ・話がよく分かりました。

惜しい理由

- ・これはこれでメリットは、大きい。しかし、参集して交流する機会が、教頭間の連携につながっていたことも忘れ難い。
- ・まだ難しさはあると思いますが、参集型の研修の実施を検討してもよいのではないのでしょうか。
- ・何時から動画を視聴できるのか教えて欲しかった。
- ・今年度初めて教頭になったため、他の教頭先生方とぜひお会いしたかったため。

とても惜しい理由

- ・学校でオンラインにされても実際、見る時間はなく、落ち着いて考えられる場がほしい

3. 来年度の研修総会について、現在のあなたの考えに一番近いものを選択してください。

